

令和7年度 富山市市民学習センター運営協議会資料

I 条例・施行規則

II 施設概要

III 令和7年度 事業報告

- 1 事業概要
- 2 年間事業
- 3 市民大学開設事業
- 4 生涯学習の啓発事業
- 5 市民大学受講者の年齢構成
- 6 市民大学受講者数等の推移

IV 令和7年度 富山市民大学に関する アンケート結果報告

V 令和8年度 事業計画案

- 1 スケジュール
- 2 令和7年度 富山市民大学の概要

VI その他

I 富山市市民学習センター条例・施行規則

平成17年4月1日施行

< 条 例 抜 粋 >

(運営協議会)

第14条 センターの運営に関し必要な事項を協議するため、富山市市民学習センター運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、12人以内とする。

3 協議会の委員は、生涯学習に関し優れた識見を有する者及び生涯学習関係団体等を代表する者のうちから委員会が委嘱する。

4 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(委任)

第15条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

< 施行規則抜粋 >

(協議会)

第6条 条例第14条に規定する富山市市民学習センター運営協議会(以下「協議会」という。)に会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 会長に事故があるときは、あらかじめ、会長の指定した委員がその職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会は、会長が招集し、その会議の議長となる。

2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第8条 協議会の庶務は、センターにおいて処理する。

II 施設概要

◎ 富山市民学習センター

- (1) 所在地 富山市大手町6番14号
- (2) 施設 富山市民プラザ 3階・4階 1,454.57㎡ (440.7坪)
- (3) 設置 昭和55年4月 社会教育センター
平成2年4月 市民学習センターに名称変更
- (4) 開館日時 午前9時～午後5時 (日曜・祝日・振替休日・年末年始は休館)
- (5) 施設内容

	区 分	面 積	収容人数
3階	子どものアトリエ	65.27㎡	16人
	アトリエ	89.06㎡	32人
	アートライブラリー	102.64㎡	24人
	調 理 室	68.40㎡	24人
	事 務 室 等	360.39㎡	20人
	計	685.76㎡	116人
4階	講 義 室 1	151.30㎡	70人
	講 義 室 2	83.70㎡	28人
	講 義 室 3	70.20㎡	30人
	サークル室 1	33.68㎡	16人
	サークル室 2	28.63㎡	12人
	サークル室 3	28.63㎡	12人
	サークル室 4	33.68㎡	16人
	サークル室 5	33.68㎡	6人
	控え室・倉庫等	199.84㎡	5人
	計	663.34㎡	195人
地 下 倉 庫	105.47㎡		

◎ 富山市民大学陶芸実習施設（花木）

- (1) 所在地 富山市花木28
- (2) 面積 106.86㎡ (32.4坪)
- (3) 設置 平成25年3月
- (4) 開館日 富山市民大学陶芸コース開設日のみ
- (5) 施設内容

	区 分	面 積	収容人数
1階	学 習 ス ペ ー ス	64.03㎡	12人
	窯 室	16.51㎡	
	ホ ー ル そ の 他	26.32㎡	
	計	106.86㎡	12人

Ⅲ 令和7年度 事業報告

1 事業概要

区分		事業趣旨・内容等	R6年度実績
学習機会 の 拡 充	市民大学開設	<p>市民の生涯学習を支援するため、系統的かつ継続的な学習機会を提供する。</p> <p>◇受講者数 1,841 人</p> <p>◇出席延べ人数 15,298 人 (540回)</p> <p>◇コース数 53コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般 37コース ・創作 10コース ・プラネット 6コース 	<p>1,733 人</p> <p>14,516 人 (544回)</p> <p>全53コース</p> <ul style="list-style-type: none"> 38コース 9コース 6コース
	生涯学習の啓発	<p>市民の誰もが学ぶ意欲を育み、生きがいを見出すことができるよう多様な学習機会を提供し、世代を超え生涯学習への認識を高める。</p> <p>◇特別講演会 年4回 (351人)</p> <p>◇特別講義 年5回 (262人)</p> <p>◇富山市民大学祭 3日間 (1,404 人)</p> <p>◇わくわくキッズ教室 (夏・冬休み)</p> <p>年6回 (80組 174人)</p> <p>◇学報、叢書の刊行 学報1冊、叢書1冊</p>	<p>年4回 (470人)</p> <p>年5回 (263人)</p> <p>3日間 (1,313人)</p> <p>6回 (70組154人)</p> <p>学報1冊、叢書1冊</p>
生涯学習団体等支援	<p>学習団体・サークル等に学習の場を提供し、市民の学習活動を支援する。</p> <p>◇各種学習団体・サークルへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民学習センター (市民プラザ内) 23サークル <p>◇富山市民大学学友会への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民大学受講者の親睦と連携意識を育むとともに、自主的的な活動による学習の支援を図る。 	<p>23サークル</p>	
相談	<p>生涯学習情報提供</p> <p>学習活動を推進するため、学習内容・方法・プログラムの企画立案及び講師紹介等の相談業務を行う。</p> <p>学習相談時間 月～金曜日 9:00～17:00</p> <p>学習相談・情報提供件数 129件 (1月末現在)</p> <p>◇富山市ホームページによる情報提供</p> <p>◇富山県生涯学習情報提供 (とやま学遊ネットワーク)</p>	<p>217件</p>	

2 年間事業

月	日	事 項
令和7年	4/4,5,7	富山市民大学受講手続き及び追加募集、学友会入会手続き
	4/18	令和7年度富山市民大学 開講式・特別講演会 「和倉温泉と能登半島地震－旅館の記録から－」 能登乃國・和倉温泉 多田屋 若女将 多田 弥生 氏
	4/22	富山市民大学コース スタート
	8/4～8	夏休みわくわくキッズ教室（全5講座）
	8/18	「叢書97号」発刊
	11/3	山田地域文化祭特別講演会 「～おもしろ健口長生きのひみつ～」 歯科衛生士 精田 紀代美 氏 ※文化祭は、山田公民館主催
	11/18	富山市民大学 全コース終了
	11/20～11/22	第45回富山市民大学祭
	(11/20)	公開講座 「落語に親しもう」 落語家 三遊亭 良楽 師匠
	(11/22)	特別講演会 「『とやまのます寿し』を学ぼう～歴史・文化・産業～」 富山ます寿し協同組合理事長 大郷 磨 氏 富山大学人文学部教授 鈴木 景二 氏 ㈱富山市民プラザ本社事業部マネージャー 中屋 州策 氏
	12/25	冬休みわくわくキッズ教室（1講座）
令和8年	1/9～1/21	特別講義（5講義）
	2/10	富山市民大学閉講式・特別講演会 「ガラスの街 富山」は ー市民大学ガラス工芸コースからー きららガラス未来館 名誉館長 野田 雄一 氏
	2/24	富山市市民学習センター運営協議会
	3/2～3/4	令和8年度富山市民大学受講申込み受付
	3/31	「学報2025」発刊

3 市民大学開設事業

	コース名	定員	受講者数	修了者数
一 般	富山の環境 -過去・現在・未来-	25	11	10
	富山のまち -持続可能なまちづくり-	25	23	19
	立山黒部ジオパークを知る	60	56	41
	郷土の歴史	60	72	60
	村(ムラ)と町の考古学	60	44	36
	日本の歴史	60	72	52
	世界の歴史	60	72	51
	中国史に学ぶ	60	72	57
	食と住の文化史	25	21	13
	歴史史料をひもとく	25	16	12
	おくのほそ道をよむ	25	27	25
	漢詩漢文の世界へ	25	28	21
	古文入門	60	63	55
	江戸時代の文学を読む	25	28	24
	くらしを彩る短歌の楽しみ	25	28	23
	俳句入門	20	24	23
	川柳を楽しむ	20	22	21
	文学へのいざない	25	21	18
	朗読を楽しもう	20	29	26
	落語のはなし	140	112	85
	日本の歌、世界の歌	50	40	29
	音楽サロン	60	32	25
	女声合唱	80	76	62
	リコーダー演奏を楽しもう	40	41	34
	世界の国々	60	75	59
	美術の世界	30	35	24
	くらしの中の和漢医薬学	60	54	37
	健康生活の知恵	60	62	48
	豊かな心	130	72	60
	リズム体操	50	50	34
	100歳まで歩こう	30	33	15
	暮らしの実学	60	61	50
	楽しい法律	60	72	61
郷土の料理	18	19	18	
家庭でできる『やくぜん料理』	18	19	17	
季節の和菓子づくり	12	12	12	
スイーツで O・MO・TE・NA・SHI	12	13	11	

	コース名	定員	受講者数	修了者数	
創 作	洋画	20	25	24	
	日本画	20	29	17	
	版画	20	10	8	
	篆刻	20	7	6	
	書に親しむ	24	24	19	
	影絵を作ろう	15	9	9	
	陶芸	前期	A	12	11
			B	12	12
		後期	A	12	11
			B	12	10
プ ラ ネ ッ ト	富山の郷土玩具”土人形”を作ろう	16	16	15	
	日本画(大沢野)	16	18	14	
	うまい水のルーツを探る	15	14	11	
	手作り銀粘土 アクセサリ	前期	12	11	11
		後期	12	9	9
	飛越往来	15	18	18	
計	53コース	1,928	1,841	1,472	

※受講者数は、受講手続きを行った者の数とする。
 ※修了者数は、7割以上の出席があった者の数とする。

4 生涯学習の啓発事業

(1)特別講演会

	日 程	演 題	講 師	会 場	参加人数
1	開 講 式 4月18日(金)	和倉温泉と能登半島地震 - 旅館の記録から -	能登乃國・和倉温泉 多田屋 若女将 多田 弥生	市民プラザ アンサンブルホール	161人
2	プラネット 11月3日(日)	~おもしろ健口長生きのみみつ~	歯科衛生士 精田 紀代美	山田公民館	50人
3	大 学 祭 11月22日(土)	「とやまのます寿し」を学ぼう ~歴史・文化・産業~	富山ます寿し協同組合 理事長 大郷 磨 富山大学人文学部 教授 鈴木 景二 (株)富山市民プラザ本社事業部 マネージャー 中屋 州策	市民プラザ アンサンブルホール	58人
4	閉 講 式 R8.2月10日(火)	「ガラスの街 富山」は -市民大学ガラス工芸コースから-	きららガラス未来館 名誉館長 野田 雄一	市民プラザ アンサンブルホール	82人
計					351人

(2)特別講義

(会場：富山市民学習センター)

回	日 程	講 義 題	講 師	参加人数
1	1月9日(金)	三味線の歴史と今 ~そして新時代へ~生演奏	(株)楽家 代表取締役 濱谷 拓也	49人
2	1月14日(水)	富山産業大博覧会から チンドンコンクールへ	市郷土博物館 学芸員 浦畑 奈津子	38人
3	1月16日(金)	楽しい法律〔家族と法律〕 ~相続 その時に備えて~	弁護士 吉田 洋	62人
4	1月19日(月)	片付けから始める生前整理 ~はじめの一步~	整理収納アドバイザー 浮田 美紀子	61人
5	1月21日(水)	変化する野生動物の分布と生態 ~クマと共存していくには~	立山カルデラ砂防博物館 主任学芸員 白石 俊明	52人
計				262人

(3)第45回富山市民大学祭 ※参加人数 1,404人

(会場：富山市民プラザ)

日 程	内 容	発表コース・講演内容など
11月20日(木)	学 習 発 表 (ア ト リ ウ ム)	一般・プラネット各コースの学習発表及び学友会 活動紹介のパネル展示
11月22日(土)	作 品 展 (アートギャラリー)	創作コース：洋画・日本画・版画・篆刻・陶芸・書・影絵 プラネットコース：富山の郷土玩具“土人形”を作ろう・日本 画(大沢野)・手作り銀粘土アクセサリ
11月20日(木) 午後	公 開 講 座 (アンサンブルホール)	「落語に親しもう」 講師：三遊亭 良楽 師匠 (富山市民大学「落語のはなし」コース講師)
11月21日(金) 午後	ス テ ー ジ 発 表 (アンサンブルホール)	リズム体操、朗読を楽しもう、リコーダー演奏を 楽しもう、女声合唱
11月22日(土) 午前	特 別 講 演 会 (アンサンブルホール)	「とやまのます寿し」を学ぼう ～歴史・文化・産業～ 富山ます寿し協同組合 理事長 大郷 磨 富山大学人文学部 教授 鈴木 景二 富山市民プラザ本社事業部 マネージャー 中屋 州策

(4)わくわくキッズ教室

小学校1年生から3年生までを対象に、親子のコミュニケーションを図りながら、身近にある材料で
造形活動を楽しむ講座 (会場：富山市民学習センター)

	日 程	内容・コース	指 導 講 師	受講者数
夏 休 み	8月4日(月)	たのしい七宝焼	「シニアライフ講座」七宝焼講師 岡部八穂子	15組34人
	8月5日(火)	森のクラフト工作	富山県林業カレッジ 稲葉泰一 外2名	6組16人
	8月6日(水)	季節の上生菓子づ くり	菓子匠「平安堂」 黒崎のぞみ	15組32人
	8月7日(木)			14組29人
	8月8日(金)	土人形の絵付け	土人形制作講師 古川 圭子	16組33人
冬 休 み	12月25日(木)	たのしい七宝焼	「シニアライフ講座」七宝焼講師 岡部八穂子	14組30人
計				80組174人

(5)富山市民大学叢書・学報の刊行

①叢書 97号

令和7年8月発行

「和倉温泉と能登半島地震－旅館の記録から－」

多田 弥生

(能登乃國 和倉温泉 多田屋 若女将)

②学報 「学報2025」 令和8年3月発行

(6)啓発事業のデジタル化

富山市LINE公式アカウントによる情報配信

- ・登録者数 242名（令和8年1月31日現在）
- ・配信内容 市民大学の受講申し込み案内、特別講義、特別講演会、わくわくキッズ教室、市民大学祭等の啓発事業の案内



登録用二次元コード

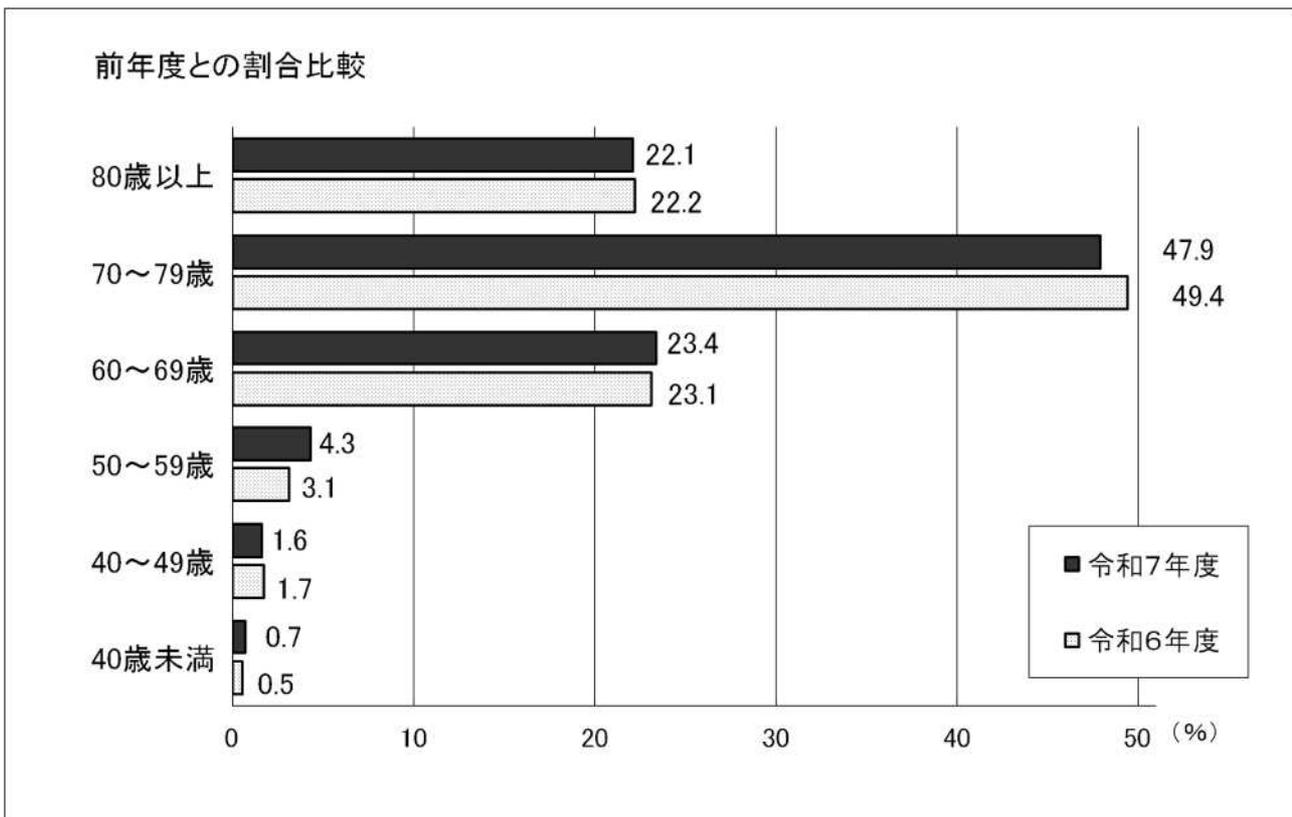
5 市民大学受講者の年齢構成

(1) コース別一覧

コース名		年齢層						合計		
		80歳以上	70～79歳	60～69歳	50～59歳	40～49歳	40歳未満			
一般	富山の環境－過去・現在・未来－	2	6	2	1	0	0	11		
	富山のまち－持続可能なまちづくり－	6	5	7	0	3	2	23		
	立山黒部ジオパークを知る	10	25	19	1	0	1	56		
	郷土の歴史	30	24	15	2	0	1	72		
	村（ムラ）と町の考古学	12	24	7	1	0	0	44		
	日本の歴史	26	28	16	2	0	0	72		
	世界の歴史	13	40	17	2	0	0	72		
	中国史に学ぶ	23	30	17	1	1	0	72		
	食と住の文化史	5	12	4	0	0	0	21		
	歴史史料をひもとく	3	9	2	1	0	1	16		
	おくのほそ道をよむ	7	15	5	0	0	0	27		
	漢詩漢文の世界へ	6	17	5	0	0	0	28		
	古文入門	12	33	17	1	0	0	63		
	江戸時代の文学を読む	9	10	9	0	0	0	28		
	くらしを彩る短歌の楽しみ	7	12	9	0	0	0	28		
	俳句入門	4	13	7	0	0	0	24		
	川柳を楽しむ	6	10	6	0	0	0	22		
	文学へのいざない	6	10	4	1	0	0	21		
	朗読を楽しもう	5	10	13	1	0	0	29		
	落語のはなし	28	61	19	2	1	1	112		
	日本の歌、世界の歌	17	16	5	2	0	0	40		
	音楽サロン	16	12	4	0	0	0	32		
	女声合唱	11	46	15	4	0	0	76		
	リコーダー演奏を楽しもう	1	21	17	2	0	0	41		
	世界の国々	18	43	13	0	1	0	75		
	美術の世界	6	18	10	1	0	0	35		
	くらしの中の和漢医薬学	9	24	15	4	1	1	54		
	健康生活の知恵	24	27	8	2	1	0	62		
	豊かな心	14	40	15	2	1	0	72		
	リズム体操	10	31	8	1	0	0	50		
	100歳まで歩こう	7	23	3	0	0	0	33		
	暮らしの実学	10	29	16	5	1	0	61		
楽しい法律	18	26	15	10	3	0	72			
郷土の料理	2	4	8	4	1	0	19			
家庭でできる『やくぜん料	0	10	7	2	0	0	19			
季節の和菓子づくり	0	2	5	4	1	0	12			
スイーツでO・M・O・T・E・N・A・S・H・I	0	5	6	1	0	1	13			
創作	洋画	4	8	4	4	2	3	25		
	日本画	3	19	4	2	1	0	29		
	版画	0	8	1	0	1	0	10		
	篆刻	0	4	3	0	0	0	7		
	書に親しむ	2	9	11	1	1	0	24		
	影絵を作ろう	2	5	1	0	0	1	9		
	陶芸	前期	A	0	4	4	2	1	0	11
			B	0	2	6	3	0	1	12
		後期	A	1	3	4	2	1	0	11
			B	1	1	5	2	1	0	10
プラネット	富山の郷土玩具“土人形”を作ろう	0	6	6	2	2	0	16		
	日本画（大沢野）	0	16	2	0	0	0	18		
	うまい水のルーツを探る	4	7	3	0	0	0	14		
	手作り銀粘土アクセサリー	前期	1	5	2	1	2	0	11	
		後期	1	3	2	1	2	0	9	
飛越往來	5	11	2	0	0	0	18			
計		407	882	430	80	29	13	1,841		

(2) 構成比

年齢構成	受講者全体		累 計	
	実 数	比率%	実 数	比率%
80歳以上	407	22.1	407	22.1
70～79歳	882	47.9	1,289	70.0
60～69歳	430	23.4	1,719	93.4
50～59歳	80	4.3	1,799	97.7
40～49歳	29	1.6	1,828	99.3
40歳未満	13	0.7	1,841	100.0
合 計	1,841	100.0		
平均年齢	72.8歳			



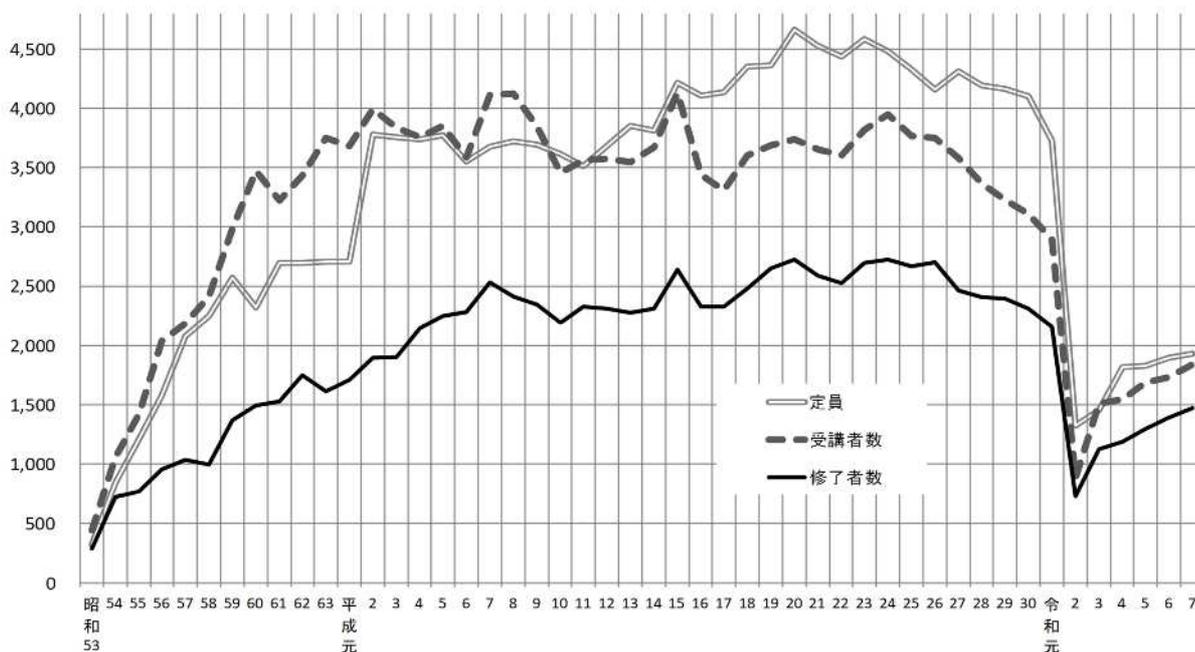
6 市民大学受講者数等の推移

(1) 年度別一覧

年度	昭和53	59	60	61	平成元	7	16	17	18	19	20	24	25	26	27
西暦	1978	1984	1985	1986	1989	1995	2004	2005	2006	2007	2008	2012	2013	2014	2015
コース数	8	38	37	48	45	52	57	57	63	70	79	79	78	76	78
定員	320	2,570	2,320	2,695	2,705	3,676	4,111	4,139	4,354	4,367	4,667	4,482	4,330	4,163	4,313
受講者数	444	2,987	3,473	3,222	3,683	4,118	3,441	3,312	3,607	3,688	3,740	3,950	3,770	3,750	3,583
修了者数	291	1,369	1,493	1,525	1,711	2,532	2,326	2,326	2,480	2,648	2,723	2,727	2,670	2,704	2,463
備考			新・ガ ス工 芸コ ー ス 設 置	コ ー ス 数 増 設		言 生 市 涯 学 習 都 市 宣 伝		受 講 料 有 料 化	新 市 誕 生	設 テ ラ イ ト を 新		称 ブ ラ ネ ッ ト に 改		受 講 料 改 定	陶 芸 コ ー ス 新 設

年度	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6	7
西暦	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
コース数	76	77	76	73	48	56	53	53	53	53
定員	4,197	4,165	4,107	3,727	1,323	1,451	1,818	1,829	1,894	1,928
受講者数	3,368	3,229	3,109	2,896	878	1,507	1,545	1,685	1,733	1,841
修了者数	2,407	2,394	2,312	2,158	725	1,126	1,187	1,296	1,388	1,472
備考				年 ガ ラ 末 で 廃 止	移 コ ー ス を 工 芸 コ ー ス に 改 定	の コ ー ス を 交 流 館 で 開 講 し た た め コ ー ス を 減 ら し た	新 感 染 型 コ ロ ナ ウ ィ ル ス の 防 止 た め コ ー ス を 減 ら し た	開 講 休 講 の た め コ ー ス を 減 ら し た	受 講 申 込 方 法 に 電 子 申 請 を 追 加 し た た め 受 講 者 数 が 増 加 し た	富 山 市 ラ イ ン 公 式 ア カ ウ ン ト に よ る 情 報 配 信 を 開 始 し た

(2) 推移



IV 令和7年度 富山市民大学に関するアンケート結果報告書

1 調査の趣旨

令和7年度の市民大学受講者の実態及び意識を把握し、今後の市民大学運営に資する。

2 実施スケジュール

- ・実施期間 9月～11月（7月までのコースでは、7月に実施）
- ・調査結果入力 10月～12月
- ・調査結果集計・考察 1月～2月

3 調査方法

- ・コースが7～8割ほど終了した時点でアンケート実施。
- ・講義前にアンケート用紙を配布して協力を依頼し、休憩時や退室時に回収。
- ・アンケート用紙は両面とし、表面に受講コースに関する設問を、裏面に市民大学全般に関する設問を記載。複数コースの受講者は、表面は受講しているコース毎に、裏面は1回みの記入。
- ・新規に開設を希望する講座についての設問を追加した。
- ・昨年度のアンケートで追加したデジタル環境活用に関する設問について一部変更した。

4 回答者

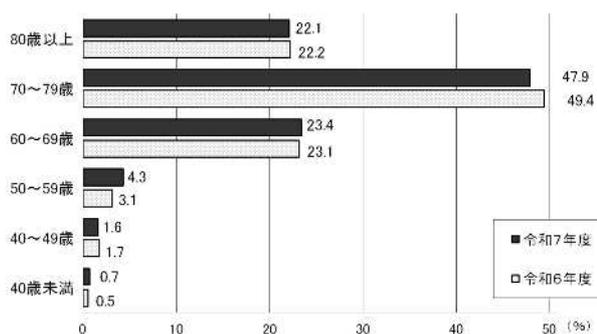
【表面】	1,202名/1,841名（延人数）	回答率 65.3%	（昨年 67.2%）
【裏面】	1,000名/1,318名（実人数）	回答率 75.9%	（昨年 78.9%）

5 令和年度 富山市民大学受講者の属性

（1）年代

- ・受講者のうち、60歳以上が93.4%（昨年94.7%）を占める。平均年齢は昨年より0.1ポイント下降し72.8歳である。平均年齢は、5年前（2020年）72.7歳であり、この5年間はほぼ横ばいである。

前年度との割合比較



<考察>

10年前の2015年に、受講者の平均年齢が70歳を超え、80歳以上の割合も10%を超えた。ここ5年間の傾向にあまり変化はないが、現在、後期高齢者の割合が46.4%を占める。この後の10年を考えると、ますます高齢化することが予想される。その理由として、「高年齢者雇用安定法」（2021年4月施行）の経過措置が2025年4月に終了したことにより、今後は65歳はもちろん、より多くのシニア世代が継続して働くことが予想されることから、ますます市民大学の受講者の年齢層は上がると予想される。

(2) 居住地

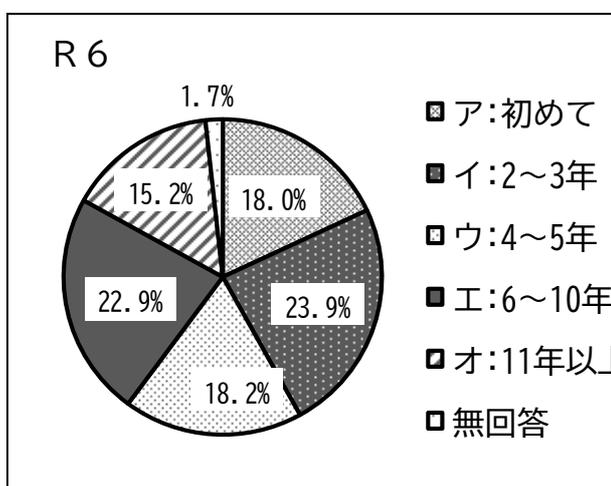
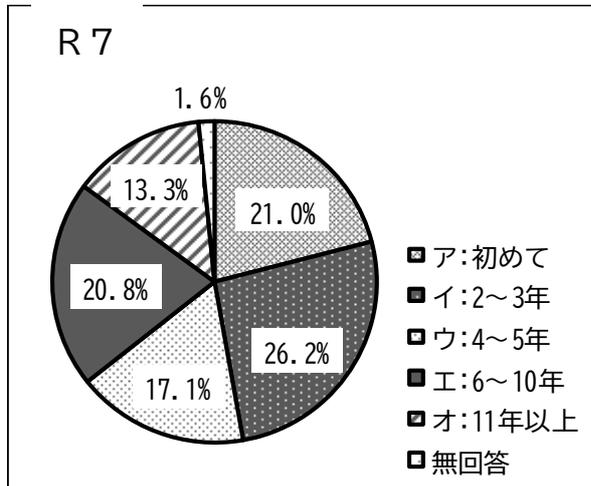
・受講者の 88.2%が「旧富山市内」の居住で、次に多いのが「婦中地域」5.6%である。市外（勤務地が富山市内）の受講者が、6名で0.5%となっている。この割合は、例年とほぼ変わらない。

6 アンケート結果と考察 回答数(表面)1,202名

参考：文章中（ ）は昨年度の数値

(1) 受講経験等について【設問1～3】

「1. 市民大学の通算受講年数」について

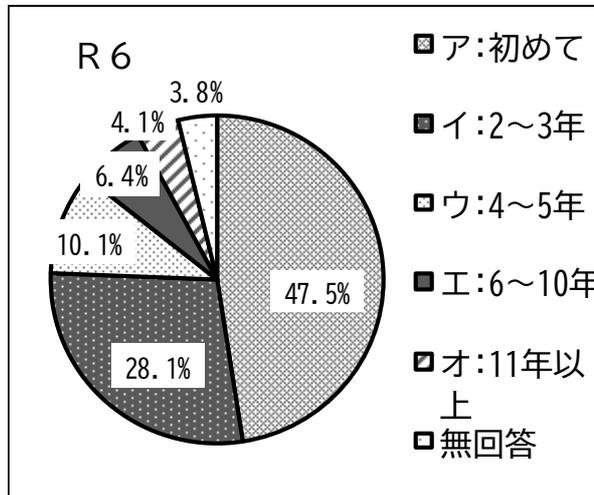
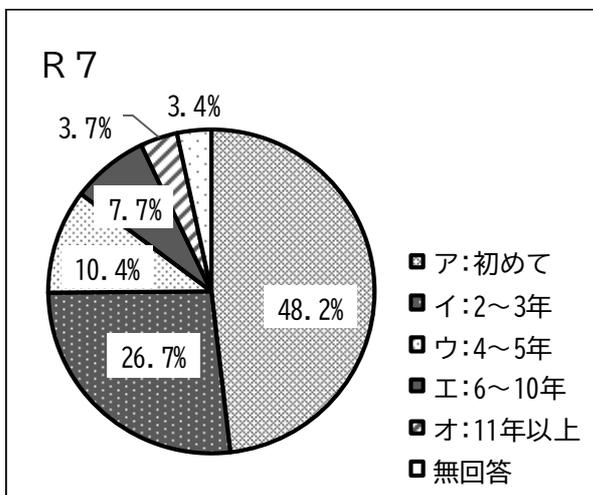


- ・「初めて」・「2～3年」を合わせて47.2%(41.9%)を占めている。
- ・一方、6年以上の受講者が34.1%(38.1%)を占めており、中でも「11年以上の受講者」は13.3%(15.2%)を占める。このうち、11～15年が11名、16～20年が13名、21年以上が12名となっている。最長で40年という受講者がいる。

<考察>

- ・「初めて」・「2～3年」ともに、昨年より割合が増加している。これらの受講者が、どのようなきっかけで、受講を始めたのかを知ることが、新規受講者の確保につながるのではないかと。別のデータでは、新規受講者を年代別に見ると60歳代が最も多く、「広報とやま」を情報源としていることから、セカンドライフとして市民大学が認知されていると思われる。
- ・6年以上の受講者が多くいることから、市民大学への満足度が高く、市民大学に通うことが、生活の一部となっていると考えられる。

「2. コースの通算受講年数」について

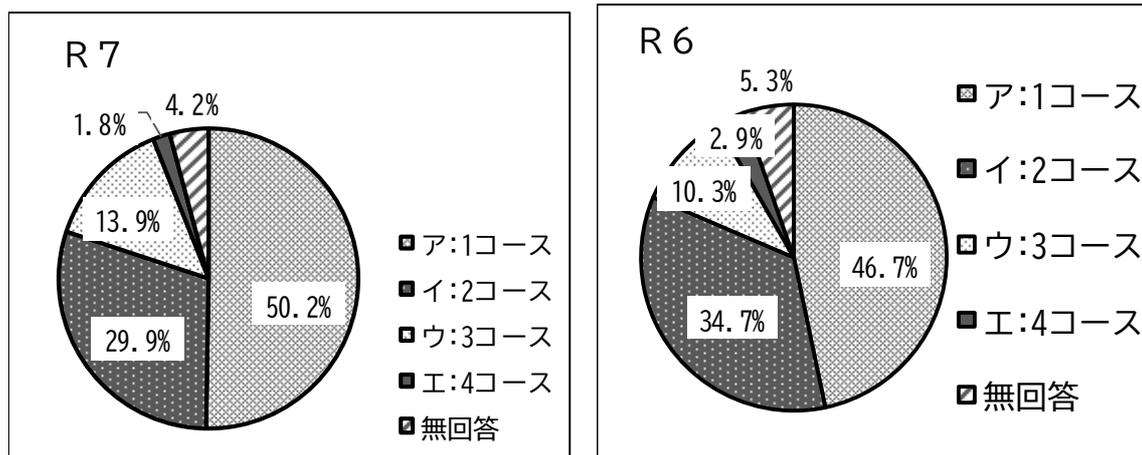


- ・このコースを初めて受講した人は、48.2%（47.5%）で、約1/2を占めている。
- ・「初めて」・「2～3年」を合わせて74.9%（75.6%）を占めている。
- ・同じコースを6年以上受講している割合は11.4%（10.5%）であった。

<考察>

市民大学自体の通算受講年数3年以内の受講者47.2%に対し、コースの通算受講年数3年以内は74.9%であることから、少なくとも1/3以上の受講者がコースを変えて市民大学を継続受講している。実際に市民大学を受講したことで、コース内容に満足されるとともに、さらに新しいことへの好奇心や学習意欲が高まっていると推測される。

「3. 受講コース数」について



- ・2コースを受講している受講者が29.9%と、昨年(34.3%)に比べて減少し、1コースのみ受講している受講者が増えている。
- 一方、3コース以上を受講している受講者が15.7%と、昨年(13.2%)より2.5%増となっている。最高は5コースである。

<考察>

ここ2年間は、約半数の受講者が複数コースを受講していることから、複数コースの受講を差し控えていた受講者が、コロナ禍を経て積極的に受講されたものと推察する。

(2) 受講コースの評価（時間・回数）について【設問4～6】

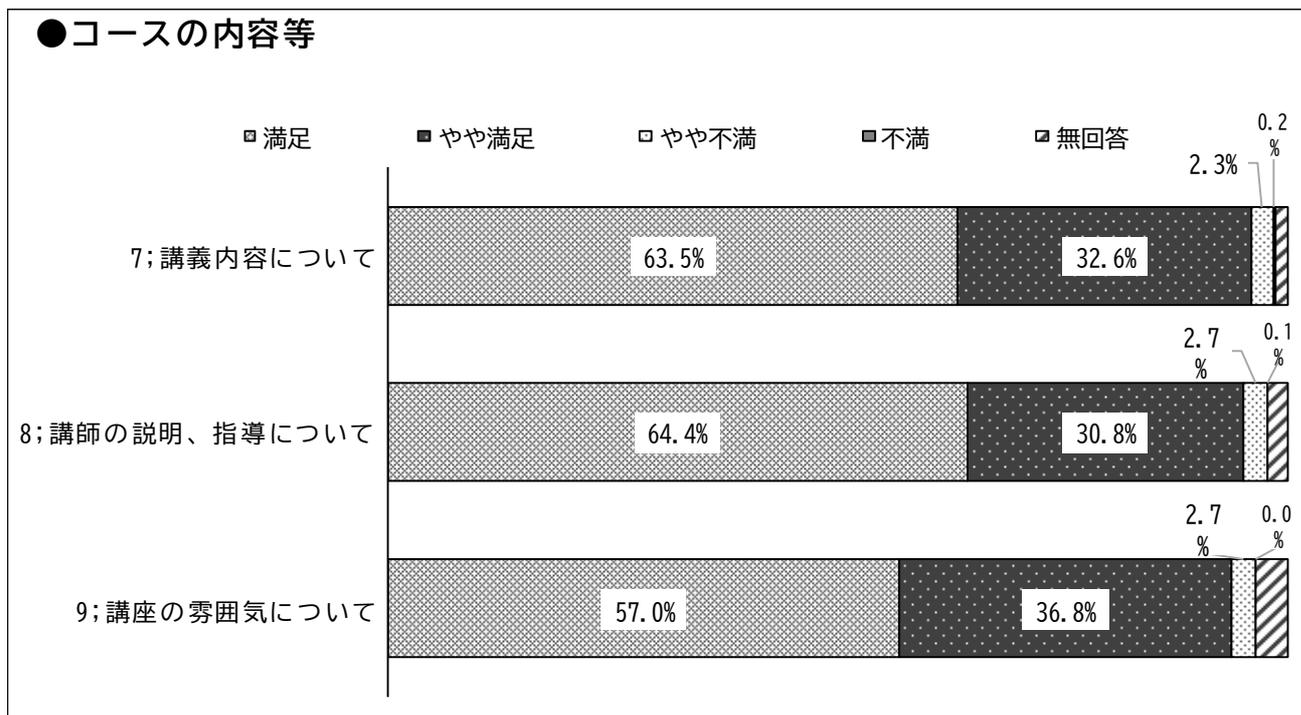
●このコースの時間・回数等について				
	ア:長い	イ:短い	ウ:ちょうどよい	無回答
4、現在の講義時間 (休憩を含み120分など)	53人 (4.4%)	21人 (1.7%)	1,112人 (92.5%)	16人 (1.3%)
	ア:多い	イ:少ない	ウ:ちょうどよい	無回答
5、講義の回数 (10回・15回など)	15人 (1.2%)	166人 (13.8%)	998人 (83.0%)	23人 (1.9%)
	ア:早い	イ:遅い	ウ:ちょうどよい	無回答
6、講義の開始時刻	72人 (6.0%)	22人 (1.8%)	1,074人 (89.4%)	34人 (2.8%)

- ・いずれの項目も、多くの受講者が「ちょうどよい」と回答している。
- ただし、「講義回数」については、「少ない」との意見が13.8%あり、一昨年(9.0%)昨年(11.6%)と、継続して増え続けている。
- ・講義時間の開始が早いという意見も、昨年から一定数ある。

<考察>

- ・「講義の回数が少ない」と答えている受講者の中には、通年での開講を望んでいる人がいるのではないか。自由記述の内容や、講義最終日の会話から、冬期間の学びの場を求めていることが伺えた。1月の特別講座への応募が多いことから、汲み取れる。特別講座を魅力のあるものになりたい。
- ・開始時刻については、「お出かけ定期券」を使用できる時間帯での開始の希望と、2025年10月の路線バス廃線や本数の削減による影響が、数値以上に、受講者の声として聞かれる。思うように受講できない悩みが感じ取れる。

(3) 受講コースの評価（内容等）について【設問7～9】

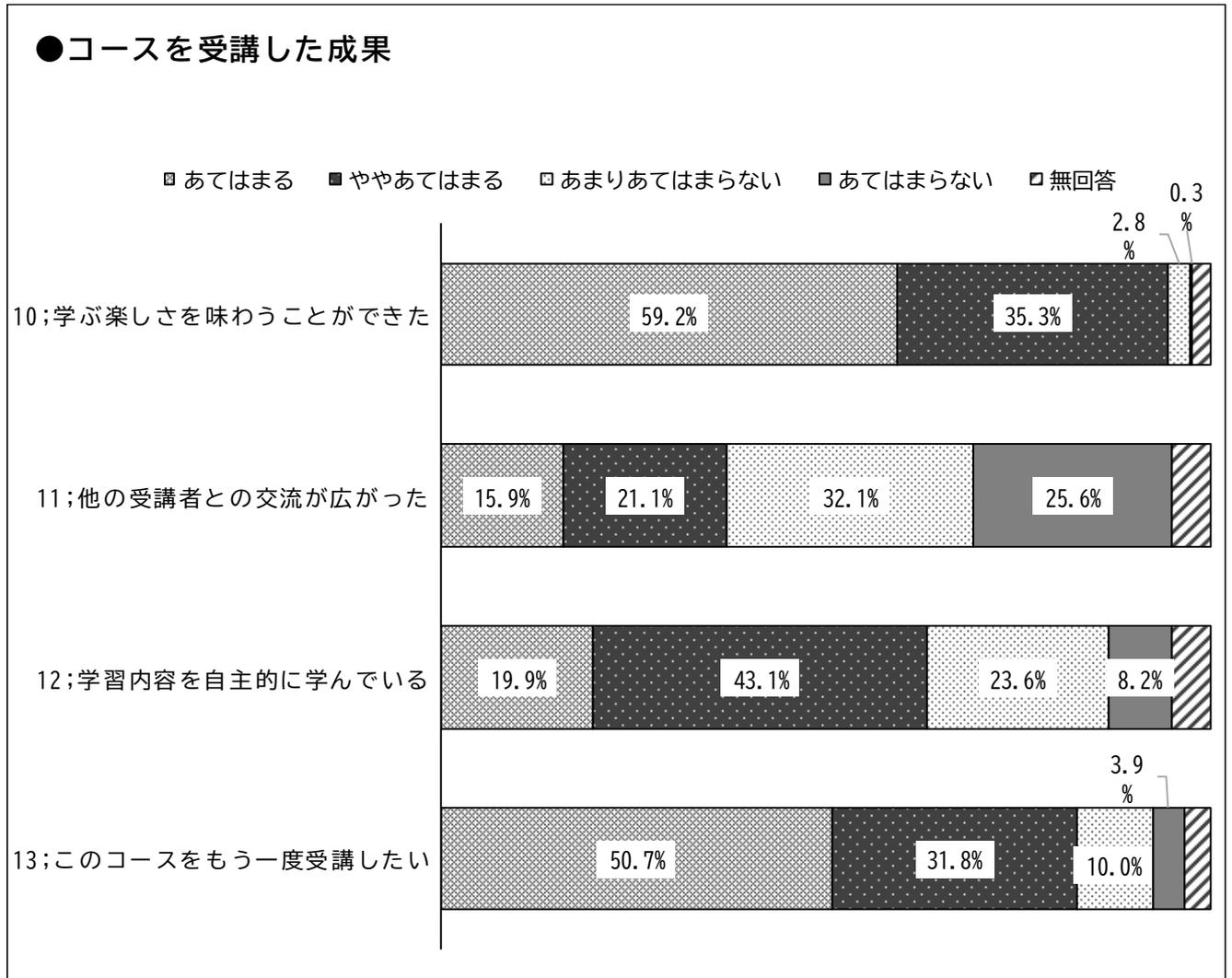


- ・どの項目も「満足」「やや満足」の割合が95%前後である。

<考察>

- ・自由記述から、自分の理解が深まり、世界が広がったことへの感謝が多数伝えられている。講座によって多少差はあるが、概ね受講者のニーズに合った講義が展開されており、それが継続して市民大学を受講する人の数に表れている。
- ・創作コースでは、「講座の雰囲気」についてポイントが高く、それに伴って「交流が広がる」と体感していることも伝わる。
- ・講座時間に質問時間の設定を望む意見や、一部の受講者が講師を独占して質問することに不快感を示す意見もある。講座担当者の配慮が必要な場面である。また、携帯電話の使用や私語については、他の受講者の学習意欲を妨げないよう、引き続き注意喚起していく必要がある。

(4) 受講した成果について【設問 10～13】



・「10 学ぶ楽しさを味わうことができた」の肯定的な意見は 94.5%、「12 学習内容を自主的に学んでいる」は、63.0%で、どちらも年々伸びている。

<考察>

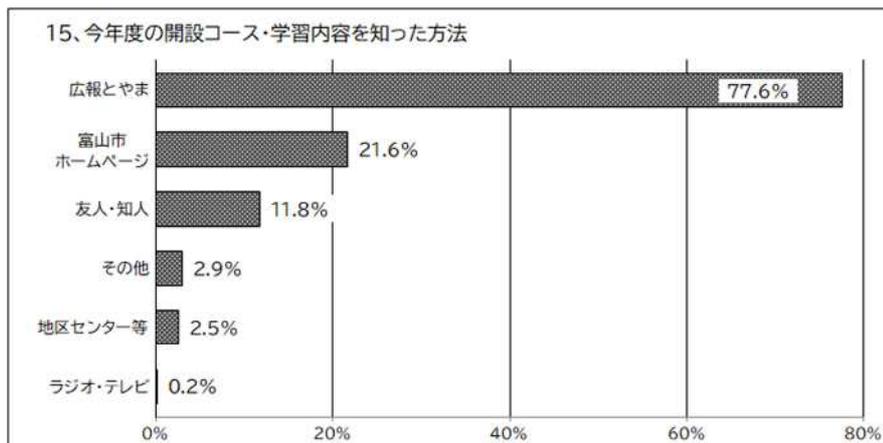
- ・自由記述での「学生時代に戻ったように…」「学生時代とは、違った角度から…」「まったく知らなかったことを知ることができた」などの記述から、受講による充実感が伝わる。
- ・「11 他の受講者との交流」については、講座の特性により異なる。また、学びの場に交流を求めている受講者もいる。
- ・「13 このコースをもう一度受講したい」については、講座の特性により、何年も継続する内容のものとそうでないものがある。一定の成果を感じるにより、新たな講座に挑戦しようとする場合もあると考える。

(5) コース全般について【設問 14：自由記述】（一部抜粋）

区 分		内 容
感想	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の指導が丁寧で非常に良い。 ・身近な事がらを深く知ったり、役立つことがあってよい。 ・毎回の講師それぞれの特徴・独自性を盛り込んだ講義でよかった。 ・親しみやすく、分かりやすい解説でおもしろい。 ・精神世界の広がりや深みを感じます。
	郷土	<ul style="list-style-type: none"> ・能登半島沖地震があって、自分の住む土地の地質的な特徴を知りたくて講座を受け、満足している。 ・長く住んでいても、全く知らなかった郷土の歴史に触れることができ、大変意義深かった。 ・郷土の発展・変遷を埋蔵物等を通じて知ることができ、とても勉強になった。地中には、貴重なお宝が埋まっていると改めて思った。
	健康	<ul style="list-style-type: none"> ・生活のリズムになったし楽しかった。脳トレになっている。 ・受講を終えると、さわやかな気持ちになりました。 ・自分の気持ちが安定するような気がする。 ・毎回、楽しみにしています。「介護」の気分転換になっています。
	生活	<ul style="list-style-type: none"> ・学生時代に学んだこととは別の角度から学べて良かった。 ・まるで学生時代に戻ったようにはつらつとしておりました。講師の先生の指導が大変すばらしかった。 ・現代に生きる我々は歴史にきちんと向き合うことが大切なので、講義を聞きながら学ぶべきは何かを常に自問自答しています。 ・いつも学び多く、また、楽しく聞けました。漢文は難しいものではないと気付きました。自分と重ねてこれからも読みたいです。 ・母も私も音楽が大好きで、講座で学んだことを家で母とシェアしています。「日本の歌」の時は、2人で一緒に歌って楽しみました。オペラを深く学びたかったので、世界の歌は私の糧となりました。宮原先生と堀江先生の一流の歌声を聴くことができ、なんてぜいたくなコースかと思いました。ありがとうございました。 ・孫育てが終わったので、楽しみをみつきたいと参加しました。久しぶりに学ぶことの楽しさを感じられ嬉しかったです。
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・年々受講者が高齢化しており、受講者からの意見質問が少なくなった。一方的な講義にならないよう、もう少し、質問の時間をとってほしい。 ・最前列で、毎回、私的な質問をする人がいる。 	
要望	<ul style="list-style-type: none"> ・8月は猛暑のため外出を控えていた。8月を休みにして、他の月に振り替えていただければよいと思います。 ・ほぼ毎回、予定された講義終了時間を超える。時間配分をちゃんとしてほしい。 ・テーブルに椅子が2脚あるが、ひとりで座っている方が多く、後の方に座ることになる。空席に鞆を置かないようにしてほしい。 ・いつものことですが、携帯電話が鳴り、メールをしている人がいる。とても気になります。 ・「おでかけ定期券」の利用が9時からなので、9:30 開始では有効にならない。開始時間を 9:45 にできないか。 ・3、4階のトイレを洋式にしてもらえないか。高齢で腰の悪い人も多く、話題になっています。 	

〔6〕市民大学全般について【設問 15～22】 回答数(裏面)1000名

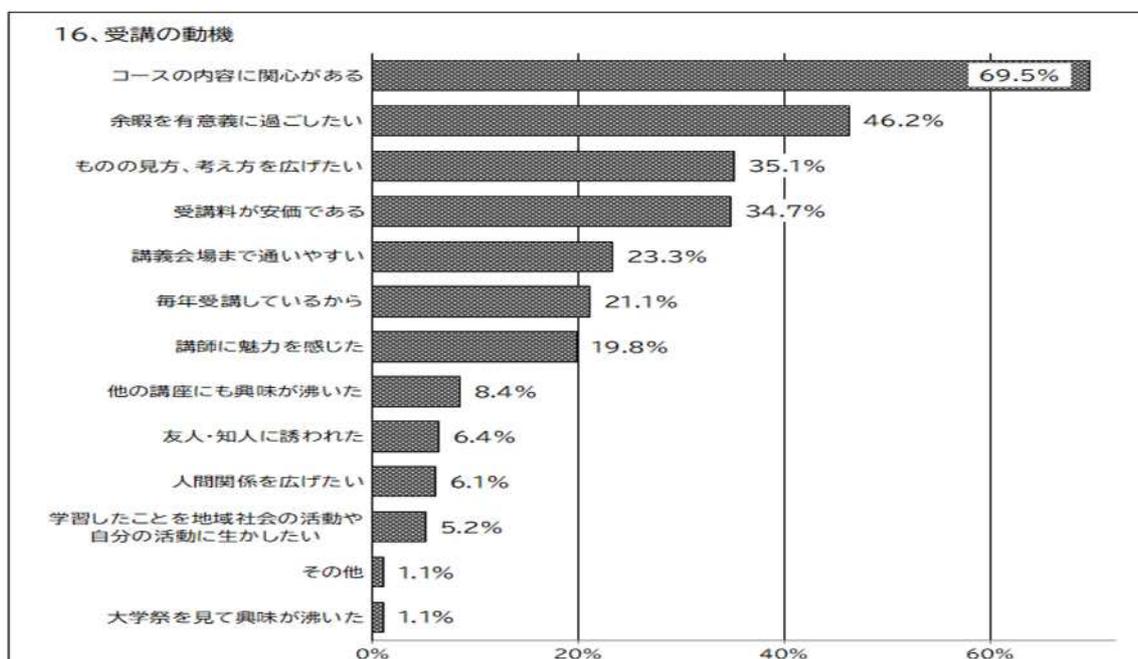
「15. 開設コース・学習内容等の情報取得手段」について



<考察等>

- ・市民大学の情報取得手段としては、例年同様「広報とやま」が最も多いのだが、2.3ポイント減少し、富山市ホームページの割合が2.5ポイント増えた。デジタル化が進んでいると言える。
- ・引き続き、「広報とやま」での周知を継続するとともに、ホームページの充実や今年度秋から開始したLINEの有効活用に努めたい。

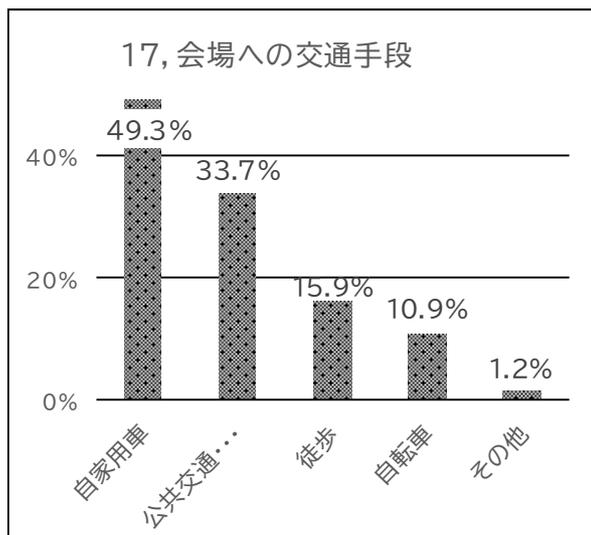
「16. 受講の動機」について



<考察等>

- ・「コースの内容に関心がある」が最も多い。次いで、「余暇を有意義に過ごしたい」「ものの見方、考え方を広げたい」となっており、例年同様の傾向である。
- ・次に「受講料が安価である」「講義会場まで通いやすい」が多いことも例年同様であり、物理的な面も動機の一つとなっているようである。
- ・「人間関係を広げたい」は6.1%にとどまり、交流を求める目的で市民大学を受講している人は少ないことが分かる。
- ・余暇を有意義に過ごすために市民大学を受講し、新たな知識の獲得や趣味等を開拓したいという思いが読み取れる。

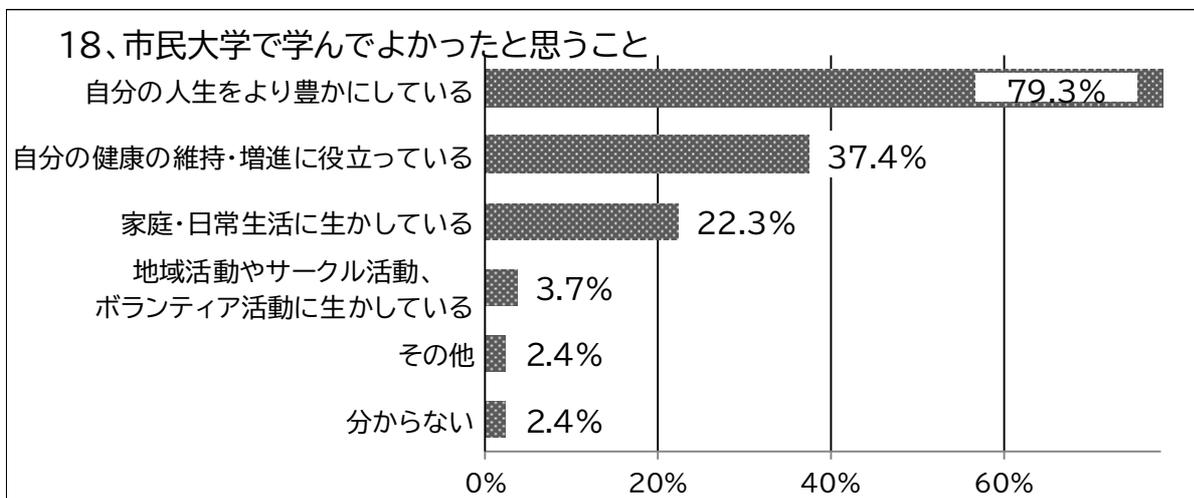
「17. 講義会場へ来場する際の主な交通手段」について



<考察等>

- ・自家用車が49.3%とほぼ半数を占める。次に公共交通機関が33.7%となっている。
- ・2年連続で自家用車が増え、公共交通機関が減っている。これは、路線バスの廃線や便数減少等が要因となり、自家用車を使わざるを得ない状況にあるのではないか。特に、市民プラザ以外の会場では自家用車使用率が96.1%である。高齢化が進む中、受講者の安全が心配される。

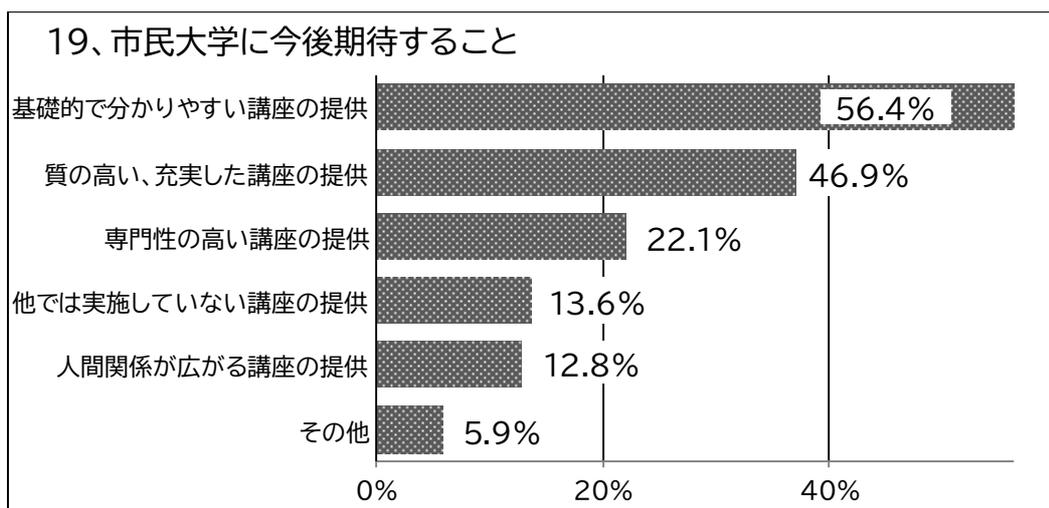
「18. 市民大学で学んでよかったと思うこと」について



<考察等>

- ・79.3%の受講者が、「自分の人生をより豊かにしている」と回答している。
- ・「自分の健康の維持・増進に役立っている」は37.4%を占める。「リズム体操」や「100歳まで歩こう」など実際に体を動かすコースや、「くらしの中の和漢医薬学」「健康生活の知恵」といった健康に関するコースの受講者に限らず、市民大学に通うことが、心身の健康につながっていると実感していると感じる。

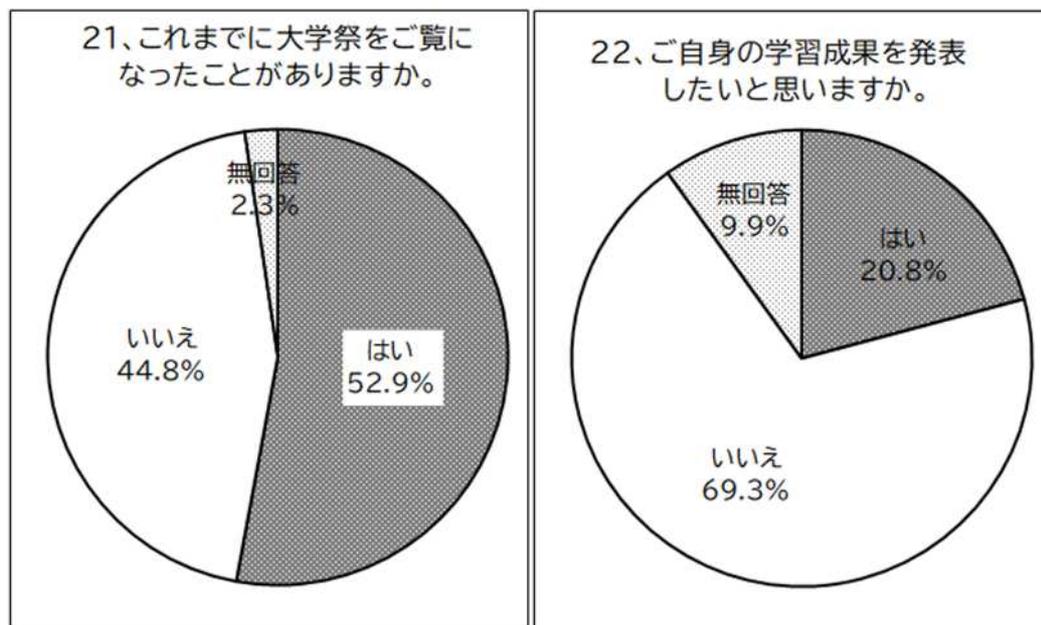
「19. 市民大学に今後期待すること」について



<考察等>

- ・「基礎的でわかりやすい講義の提供」が52.4%を占め、最も要望が多い。また、「質の高い、充実した講義の提供」は43.7%を占めており、例年どおり要望が多い。
- ・一方で、「専門性の高い講義の提供」が21.4%と一定数を占める。
- ・「質の高い、充実した講義の提供」に努めることを基本に、今後も誰もが参加しやすい基礎的な講義の開設に力を入れていく。また、それと併せて専門性の高い講義も継続するなど、市民の多様なニーズに合ったコース・講義の提供に努める。

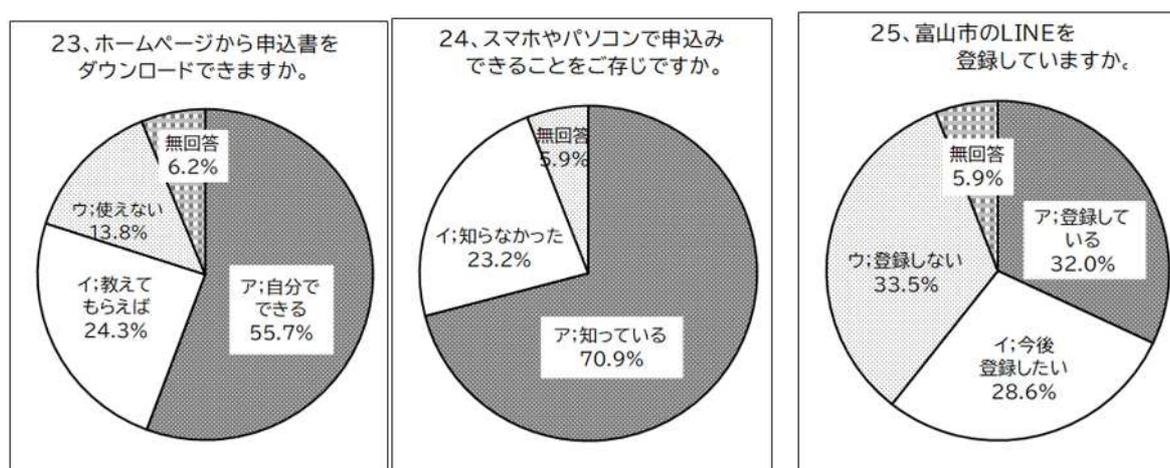
「富山市民大学祭」について【設問 21～22】



<考察等>

- ・52.9% (56.4%) が「これまでに大学祭を見たことがある」と回答しているものの、44.8% (40.3 %) が「見たことがない」と回答している。
- ・「自身の学習成果を公表したいか」に対して、否定的な回答が多い。肯定的な意見は約2割である。発表を目標とする講座は、制作系と、現在ステージ発表を実施している講座等に絞られる。講義形式の講座の受講者は、発表を目標としていない。また、高齢化に伴い、運動系のステージ発表に抵抗を示す受講者が多く、今年度の大学祭では、出演者を集めることに苦慮した。今後、受講者の実態とニーズに沿った大学祭の企画が求められる。

(7) 「デジタル環境」について【設問 23～25】



<考察等>

- ・設問 23「自分でできる」55.7% (昨年 50.3%)、設問 24「知っている」70.9% (60.3%)、設問 25「登録している」32.0% (20.8%) と、急速にデジタル環境が整って来たことが分かる。
- ・令和6年度分の受講申込からインターネットによる受付を開始した。利用者は、令和6年度は約35% 今年度は49.3%と、急速に増えている。
- ・時代の変化に合わせて、申し込みや情報発信の方法を検討をしていくこととなるが、一部にはデジタル化についていけない受講者いることを考慮した上で、慎重に進めなくてはならないだろう。

7 アンケート全般について (考察)

- ・受講者の高齢化が進む中、市民大学を維持していくには、継続的に新たな受講者を確保していく必要がある。そのためには、魅力ある講座の運営と、受講者の満足度を高める工夫をすることが必要である。
- ・市民のニーズに合った市民大学を運営していくために、市広報をはじめ大学祭、特別講演会の周知を今以上に工夫し、受講者数の確保につなげる工夫が。

令和7年度 富山市民大学に関するアンケート

受講コース名

※ 富山市民大学運営の参考にするため、以下のアンケートにご協力をお願いします。
(該当する項目に○を付けてください。)

● 受講経験等について

1	市民大学の通算受講年数	ア 初めて	イ 2～3年	ウ 4～5年	エ 6～10年	オ 11年以上 (年)
2	このコースの通算受講年数	ア 初めて	イ 2～3年	ウ 4～5年	エ 6～10年	オ 11年以上 (年)
3	今年度の受講数	ア 1コース	イ 2コース	ウ 3コース	エ 4コース以上 (コース)	

● このコースの時間・回数等について

4	現在の講義時間 (休憩を含み120分など)	ア 長い	イ 短い	ウ ちょうどよい
5	講義の回数 (10回・15回など)	ア 多い	イ 少ない	ウ ちょうどよい
6	講義の開始時刻	ア 早い	イ 遅い	ウ ちょうどよい

● このコースの内容等

質 問 項 目	評 価 欄			
	満足	やや満足	やや不満	不満
7 講義内容について	4	3	2	1
8 講師の説明、指導について	4	3	2	1
9 講座の雰囲気について	4	3	2	1

● このコースを受講した成果

質 問 項 目	評 価 欄			
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
10 学ぶ楽しさを味わうことができた	4	3	2	1
11 他の受講者との交流が広がった	4	3	2	1
12 学習内容を自主的に学んでいる	4	3	2	1
13 このコースをもう一度受講したい	4	3	2	1

● このコースを受講しての感想をお書きください。(自由記述)

14	
----	--

裏面に続く。
裏面は、一人1回の回答です。
他のコースで回答された方は、回答されなくて結構です。

ここからは、一人1回の回答となります。
他のコースで記入された方は、回答されなくて結構です。

- 今年度の開設コース及び学習内容を知った方法 (該当するものすべてに○を付けてください。)

15	ア 広報とやま	イ 富山市ホームページ	ウ ラジオ・テレビ
	エ 地区センター等	オ 友人・知人	カ その他(

- 受講の動機 (該当するものすべてに○を付けてください。)

16	ア ものの見方、考え方を広げたい	イ コースの内容に関心がある	ウ 講師に魅力を感じた
	エ 余暇を有意義に過ごしたい	オ 学習したことを地域社会の活動や自分の活動に生かしたい	
	カ 友人・知人に誘われた	キ 人間関係を広げたい	ク 受講料が安価である
	ケ 講義会場まで通いやすい	コ 他の講座にも興味が沸いた	サ 毎年受講しているから
	シ 大学祭を見て興味が沸いた	ス その他()

- 講座会場へ来場する際の主な交通手段 (該当するもの○を付けてください。)

17	ア 徒歩	イ 自転車	ウ 自家用車
	エ 公共交通機関	オ その他(

- 市民大学で学んでよかったと思うこと (該当するものすべてに○を付けてください。)

18	ア 自分の人生をより豊かにしている
	イ 家庭・日常生活に生かしている
	ウ 自分の健康の維持・増進に役立っている
	エ 地域活動やサークル活動、ボランティア活動等に生かしている
	オ 分からない
	カ その他(

- 市民大学に今後希望すること (該当するものすべてに○を付けてください。)

19	ア 質の高い、充実した講座の提供	カ その他 (具体的に書いてください。)
	イ 専門性の高い講座の提供	
	ウ 基礎的で分かりやすい講座の提供	
	エ 人間関係が広がる講座の提供	
	オ 他では実施していない講座の提供	

- 新規に開設を希望する講座があれば、お書きください。(自由記述)

20	
----	--

- 富山市民大学祭について (該当するものに○を付けてください。)

21	これまでに、大学祭をご覧になったことがありますか。	ア はい	イ いいえ
22	市民大学祭で、ご自身の学習成果を発表したいと思いますか。(作品展示やステージ発表等)	ア はい	イ いいえ

- デジタル環境について (該当するものに○を付けてください。)

23	市民学習センターのホームページから市民大学の申込書をダウンロードできますか。	ア 自分でできる	イ 家族等に教えてもらえばできる	ウ スマホ・パソコンは使えない
24	スマホやパソコンから市民大学受講の申込みができることをご存じでしたか。	ア 知っている	イ 知らなかった	
25	富山市のLINEを登録していますか。または、してみたいと思いますか。	ア 登録している	イ 登録していないが今後したいと思う	ウ 登録するつもりはない

※ ご協力ありがとうございました。

V 令和8年度 事業計画案

1 スケジュール

月/日	事 項
令和8年 3月2日(月)～4日(水)	富山市民大学 受講申込み受付 (インターネット・郵送受付 2/13～3/4)
4月4日(土)・6日(月) ・7日(火)	富山市民大学 受講手続き及び追加募集
4月15日(水)	富山市民大学開講式・特別講演会
8月	わくわくキッズ教室(夏休み)
11月27日(金)～28日(土)	第46回富山市民大学祭
12月	わくわくキッズ教室(冬休み)
令和9年 1月	特別講義(全5回)
2月	富山市民大学閉講式・特別講演会 富山市市民学習センター運営協議会
3月	令和9年度富山市民大学 受講申込み受付 富山市民大学「学報2026」発刊

2 令和8年度 富山市民大学の概要

- (1)コース数 54 コース {R7 53 コース}
 (2)定 員 1,955 人 {R7 1,928 人}
 (3)受 講 料 別紙のとおり (会議当日に配布)

(4)コースの見直し

【新規開設】	1 コース	} 詳細は次のとおり
【廃止】	なし	
【変更】	4 コース	

区 分	コース名	変更内容
①新規開設	脳と身体の健康 『ライフキネティック』(定員 25 人)	
②コース名変更	村(ムラ)と町の考古学	海・山・川の考古学
③時間変更	郷土の料理	9:30~12:00 → 10:00~12:00
	家庭でできる『やくぜん料理』	9:30~12:00 → 10:00~12:00
④日程・定員・会場 の変更	日本画(大沢野)	木曜日 → 金曜日 16名 → 18名、 大沢野会館 → 大久保ふれあいセンター

VI その他

「富山市公の施設の使用料適正化に関する基本方針」に係る対応について

公の施設の維持管理に必要となる財源を適切に確保するとともに、施設利用者と非利用者の公平性を確保することを目的に、「富山市公の施設の使用料適正化に関する基本方針」が策定されたため、現在無料としているサークル室等施設使用料について改定の検討が必要となる。

今後のスケジュール

年度	内容	時期等
R7	・「公の施設の使用料の適正化に関する基本方針」の策定	11月
	・減免規定（条例施行規則、要綱）の改正 ⇒「後援」による減免を廃止（令和8年4月1日施行）	12月
R8	・「共通減免基準」の適用開始	4月1日～
	・使用料改定案の検討（令和5～7年度の3か年実績で作成）	～10月
	・政策調整会議（使用料改定案の決定）	2月
R9	・条例改正案提出（使用料改定案）	9月
R10	・新使用料の適用開始	4月1日～

富山市民大学受講料の改定について

1 趣旨

富山市民大学受講料の設定については、受益者負担の原則から市民大学運営に要する講師謝金等の諸経費を受講者負担とすることを基本としている。

このたび、講師謝金を増額し、より魅力ある講師を選定するとともに、資料代や受講決定通知の郵送代を受講料に含めることで事務の効率化を図るため、受講料の改定を実施する。

2 改定内容

	改定前		改定後
10回開催以下のコース	3,000円		3,500円
1回あたり	300円		350円
11回開催以上のコース	4,000円		4,500円
(15回の場合) 1回あたり	266円		300円

3 改定期日

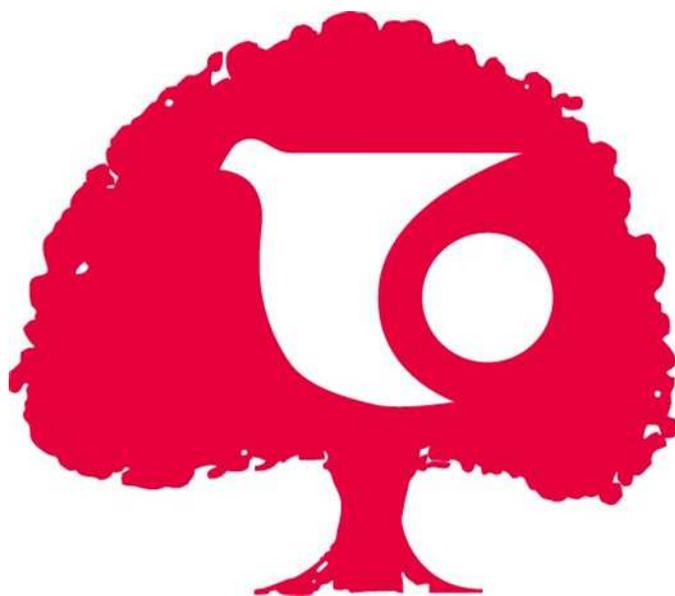
令和8年4月1日

要項・学習日程

2026

富山市民大学

Foyama Citizens College



富山教育委員会
市民学習センター

2026 富山市民大学要項

目 次

1	令和8年度 富山市民大学概要.....	1
2	受講について.....	2
3	関連行事・事業.....	2
4	コース一覧.....	3
5	曜日別コース一覧.....	6
6	学習日程表	
	(1) 一般.....	7
	(2) 創作.....	26
	(3) プラネット.....	30
7	各会場の地図.....	33

富山市民大学の歌	
志田延義 作詞	
渡辺一郎 作曲	
一、学習仲間の 輪を拡げては	
学び続ける わたくしたちの	
意欲よろこび 山涛見上げる	
富山市民大学 市民大学	
二、今日から明日へ 若きも老いも	
聴いては調べ 表し創る	
開く心は 海空と青い	
富山市民大学 市民大学	
三、男性女性も 助け合っては	
花に紅葉に 雪にも競う	
学習の場の 集い謳おう	
富山市民大学 市民大学	
(昭和62年制定)	

表紙のカットは、富山市民大学のシンボルマークです。《樺（けやき）》に、平和の象徴の《はと》と恵みのもと《太陽》で、Toyama（とやま）のToをかたどったものです。
図案 小西安治氏（富山市）

1 令和8年度 富山市民大学概要

- (1) 趣 旨 富山市民大学は、「市民の皆さまの生涯学習」を支援するために、年度を通して系統的な内容による継続的な学習機会を提供します。
郷土の魅力を再発見する「富山を学ぶ」内容をはじめとして、実生活を豊かにするものから、国際的な視点を養うものまで、幅広い分野に及ぶコースをご用意しています。
併せて、受講者同士のふれあいを大切に、心豊かな暮らしの一助となることを目指します。
- (2) 対 象 者 市内に居住または勤務されている方
- (3) 期 間 令和8年4月～11月
- (4) 開 設 コ ー ス
- | | |
|---------|--------|
| ① 一 般 | 38 コース |
| ② 創 作 | 10 コース |
| ③ プラネット | 6 コース |
- (5) 日時及び会場 コースごとに異なります。
「学習日程表」(P7～)をご確認いただき、お間違いのないよう、ご注意ください。
- (6) 受 講 料 10回以下のコース … 1コース 年間3,500円
11回以上のコース … 1コース 年間4,500円
※いったん納入された受講料は返還できません。
- (7) 教 材 費 等
- 教材費や現地学習の経費等は自己負担となります。
※詳細は各講座の学習日程表の欄外を確認してください。
 - なお、講義ごとの資料代については、令和8年度からは受講料に含めるため徴収しません。
 - 配付資料は一人1部です。当日欠席された方で資料をご希望の場合は、次回以降の受講日にお申し出ください。
- (8) 開講式・閉講式
- 【開 講 式】令和8年4月15日(水) 午後1時30分から
富山市民プラザ 4階アンサンブルホール
- 【閉 講 式】令和9年2月中旬(予定)
※各式の後、併せて特別講演会を実施します。
- (9) 問い合わせ先
- 一般・創作については
富山市民学習センター
〒930-0084 富山県富山市大手町6番14号(市民プラザ内)
☎ 493-3500 FAX 491-4685
 - プラネットについては
教育行政センター ☎ 467-5822
 - ホームページは、富山市民ホームページ(ページID「1010580」)をご覧ください。

2 受講について

(1) 講義日時や会場の確認について

「学習日程表」(P7~)に、コースの日程、学習題、会場等を掲載しています。受講されるコースの講義日と会場を、必ず確認してご参加ください。

(講義日によって会場が変わるコースもありますので、ご注意ください。)

(2) 受講時のお願い

- ・コースごとに発行される受講証(名札兼)を、着用又は提示してください。(コース初回に配付して、最終回に回収します。)
- ・受講証は、紛失しないようご注意ください。また、受講証を複製したり、知人等に貸したりしないようお願いいたします。
- ・毎回、出席簿に○をつけてください。
- ・講義中の写真撮影や録音等、及び配付資料の受講目的以外での活用は、ご遠慮ください。

(3) 学習内容等の変更について

- ・諸々の理由により、講師・日程・会場・学習題等を変更する場合がありますので、ご了承ください。
- ・変更の場合はホームページの掲載及びハガキ等により事前にお知らせします。

(4) その他

- ・受講申込時の連絡先に変更があった場合は、必ずご連絡ください。
- ・富山市民プラザには無料の駐車場はありません。

3 関連行事・事業

(1) 第46回富山市民大学祭

市民大学の一年間の学習成果を発表し、受講者相互の交流を深めていただくとともに、広く市民が参加できる機会として開催します。

(詳しくは、広報とやま・市ホームページ等でお知らせします。)

○日 時 令和8年11月27日(金)・11月28日(土)

○会 場 富山市民プラザ2階 ギャラリーほか

○内 容 作品展示、ステージ発表、パネル展示など

(2) 関連事業

大人から子どもまで、幅広い生涯学習の啓発を図るため、富山市民大学コースのほかにも、「わくわくキッズ教室」や「特別講演会」、「特別講義」等、多彩な講座・教室を開催します。(詳しくは、広報とやま・市ホームページ等でお知らせします。)

また富山市民大学事業実績を「学報」、特別講演会講演内容を「叢書」にまとめ、生涯学習資料として保存するとともに、希望者には有料で頒布しています。

4 コース一覧

日時・会場・学習題など、詳しくは各コースの「学習日程表」頁でご確認ください。

(1) 一般

【会場】市民学習センター（市民プラザ） 講義室ほか

No	コース名	分野	曜日・開始時刻	回数	定員	学習内容	頁
101	富山の環境 -過去・現在・未来-	郷土	(木) 9:30	10	25	富山の自然環境について、過去と現在の実相や市の施策等を学びます。	7
102	富山のまち -持続可能なまちづくり-	郷土	(金)13:30	10	25	富山のまちの過去や現在の姿、市の施策等を学びます。まちなか見学も行います。	7
103	立山黒部ジオパークを知る	郷土	(水) 9:30	10	60	富山の地形・地質が生み出す自然環境や歴史を通し、ジオパークとは何かを学びます。	8
104	郷土の歴史	郷土	(木)13:30	10	60	「ふるさと富山」にまつわる歴史について学びます。	8
105	海・川・山の考古学	郷土	(金) 9:30	10	60	自然地形（海・川・山）と遺跡との関わりについて発掘調査成果から学びます。	9
106	日本の歴史	歴史	(水)13:30	10	60	日本の歴史について、さまざまな視点から学びます。	9
107	世界の歴史	歴史	(月)13:30	10	60	世界の歴史について、さまざまな視点から学びます。	10
108	中国史に学ぶ	歴史	(木)13:30	10	60	北宋時代に開花した中国の新文化を時系列に即して学びます。	10
109	食と住の文化史	歴史	(木)13:30	10	25	基本的な営みとなる食・住の視点から、人間の知恵や生き方に迫ります。	11
110	歴史史料をひもとく	歴史	(月)13:30	10	25	歴史史料をよみ、各時代のもつ多様性や意外性、人々のあり方を追究します。	11
111	おくのほそ道をよむ	文学	(水) 9:30	10	25	「おくのほそ道」を、北陸路をメインに講読します。	12
112	漢詩漢文の世界へ	文学	(金)13:30	10	25	漢詩や故事、論語を通じて、漢文に親しみます。	12
113	古文入門	文学	(火) 9:30	10	60	高校の教科書でも読まれている古文に触れ、古典に親しむ豊かな時間を共有します。	13
114	江戸時代の文学を読む	文学	(水)13:30	10	25	江戸時代のさまざまな作品を味わいます。	13
115	暮らしを彩る短歌の楽しみ	文学	(金) 9:30	10	25	日々の暮らしの中で短歌を楽しみ、創作し、仲間と共感する楽しみを味わいます。	14
116	俳句入門	文学	(水)13:30	10	20	現代俳句の基礎を学び、句会の楽しさを味わいます。	14
117	川柳を楽しむ	文学	(月)13:30	10	20	川柳づくりの基礎を学び、句会の楽しさを味わいます。	15
118	文学へのいざない	文学	(水) 9:30	10	25	短編小説の感想を語り、文学を深く味わいます。	15
119	朗読を楽しもう	文学	(木) 9:30	10	20	声に出して読んだり、講師の朗読を聴いたりして、言葉や文章の美しさを味わいます。	16
120	落語のはなし	文化	(火) 9:30	10	140	古典文化「落語」に表現された豊かなものの見方や考え方にふれ、味わいます。	16
121	日本の歌、世界の歌	文化	(木) 9:30	10	50	美しい生演奏や歌唱を交えて、さまざまな名歌に親しみ、音楽の楽しさを味わいます。	17
122	音楽サロン	文化	(火)13:30	10	60	18～20世紀の欧米音楽を鑑賞します。	17
123	女声合唱	文化	(水) 9:30	15	80	皆で楽しく歌い、心がかよう合唱をめざします。	18

No	コース名	分野	曜日・開始時刻	回数	定員	学習内容	頁
124	リコーダー演奏を楽しもう	文化	(月) 9:30	10	40	音楽の時間に親しんだソプラノ・リコーダーを中心に、既知の楽曲で楽しく気軽にアンサンブルを楽しみます。	18
125	世界の国々	文化	(金)13:30	10	60	世界の国々の国内事情や文化などを、国際交流員や現地で活動された方々等から学びます。	19
126	美術の世界	文化	(火)13:30	10	30	さまざまな美術作品を鑑賞しながら、その文化や歴史を学びます。(現地学習7回予定)	19
127	くらしの中の和漢医薬学	健康	(金) 9:30	10	60	健康な生活をおくるため、漢方薬や和漢薬、身近な病気に関するさまざまな医学・薬学について学びます。	20
128	健康生活の知恵	健康	(金)13:30	10	60	食や生活習慣等、さまざまな視点から、健康に暮らすための知恵を学びます。	20
129	豊かな心	健康	(木) 9:45	10	130	「いのち」と「生きる」ことについて考え、癒される時間を過ごします。	21
130	リズム体操	健康	(火)13:30	15	50	ストレッチで身体をほぐし、音楽に合わせて楽しく体操し、心も身体も元気にします。	21
131	100歳まで歩こう	健康	(水)13:30	10	30	前半5回のストレッチで身体を整え、後半5回でノルディック・ウォークを行います。	22
132	【新規コース】 脳と身体の健康『ライフキネティック』	健康	(木)13:30	10	25	頭と身体を使って、脳機能の活性化を行います。	22
133	暮らしの実学	生活	(水)13:30	10	60	実生活に役立つさまざまな事柄を、各界の専門家から学びます。	23
134	楽しい法律	生活	(土)13:30	10	60	家庭や社会生活、財産にかかわる身近な法律を楽しく学びます。	23
135	郷土の料理	生活	(火)10:00	8	18	富山に伝わる郷土料理を学び、作ります。	24
136	家庭でできる『やくぜん料理』	生活	(火)10:00	8	18	富山の「やくぜん料理」を学び、作ります。	24
137	季節の和菓子づくり	生活	(木)10:00	8	12	季節に応じた和菓子を学び、作ります。	25
138	スイーツでO・MO・TE・NA・SHI	生活	(木)10:00	8	12	おもてなしにぴったりなスイーツを学び、作ります。	25
計				382	1,700		

(2) 創 作 【会場】 市民学習センター（市民プラザ）、陶芸実習施設（花木）

No	コース名		曜日・開始時刻	回数	定員	学習内容	会場	頁	
201	洋	画	(土)10:00	15	20	静物画、人物画、風景画、自動描写などを学び、作品を制作します。	市民学習センター アトリエ	26	
202	日	本 画	(金)13:30	15	20	デッサンや日本画絵具の使い方を初歩から学び、作品を制作します。		26	
203	版	画	(金) 9:30	15	20	彫刻刀の扱い・彫り・本摺りまでの工程を順に学び、作品を制作します。		27	
204	篆	刻	(木)14:00	10	20	落款などの基本を学び、中国の篆書文字を石印材に刻んで印を制作します。		27	
205	書	に 親 し む	(月)13:30	10	24	基本的な書道技術を習得し、楽しんで自分の作品を制作します。		28	
206	影 絵	を 作 ろ う	(水) 9:30	8	15	紙を切って影絵の仕掛けを制作し、投影して楽しめます。慣れたら影絵で物語を作ります。		28	
207	陶 芸	前 期 (5~7月)	A	(金)13:30	10	12	粘土成型や釉薬がけなどの基本を学び、作品を制作します。 ※後期の募集は、 「広報とやま(7月20日号予定)」に 掲載します。	陶 芸 実 習 施 設 (花木体育センター 地内)	29
208			B	(火)13:30	10	12			
209		後 期 (8~11月)	A	(金)13:30	10	12			29
210			B	(火)13:30	10	12			
計				113	167				

(3) プラネット

No	コース名		分野	曜日・開始時刻	回数	定員	学習内容	会場	頁
301	富山の郷土玩具 “土人形”を作ろう		創作	(火)13:30	10	16	型抜きで粘土の人形を作り、窯焼き・彩色して作品を作ります。	大 沢 野 会 館	30
302	日本画(大沢野)		創作	(金)10:00	15	18	デッサンや絵具の使い方を初歩から学び、作品を制作します。	大久保ふれあい センター	30
303	うまい水のルーツを探る		郷土	(木)10:00	10	15	小水力発電所などの現地学習を 交え、水について学びます。	大 山 会 館 ほか	31
304	手作り銀粘土 アクセサリ	前期	創作	(火)13:30	5	12	銀粘土でアクセサリ(ペンダ ントトップと指輪)を制作します。 ※後期の募集は、 「広報とやま(8月5日号予定)」 に掲載します。	婦 中 ふ れ あ い 館	31
305		後期	創作	(火)13:30	5	12			
306	飛 越 往 来		郷土	(水)10:00	10	15	細入地域を中心に、越中と飛騨の 歴史を学びます。	猪 谷 関 所 館	32
計					55	88			

合 計	54 コース	550 回	1,955 名
-----	--------	-------	---------

5 曜日別コース一覧

曜日や時間帯が重なっていても、開催日が異なっていれば受講できます。
詳しくは各コースの「学習日程表」頁でご確認ください。

【会場】市民学習センター(富山市民プラザ内)

	月	火	水	木	金	土
午前	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダー演奏を楽しもう 	<ul style="list-style-type: none"> ・古文入門 ・落語のはなし ・郷土の料理 ・家庭でできる『やくぜん料理』 	<ul style="list-style-type: none"> ・立山黒部ジオパークを知る ・おくのほそ道をよむ ・文学へのいざない ・女声合唱 ・影絵を作ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・富山の環境 ・朗読を楽しもう ・日本の歌、世界の歌 ・豊かな心 ・季節の和菓子づくり ・スイーツでO・MO・TE・NA・SHI 	<ul style="list-style-type: none"> ・海・川・山の考古学 ・くらしを彩る短歌の楽しみ ・くらしの中の和漢医薬学 ・版画 	<ul style="list-style-type: none"> ・洋画
午後	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史 ・歴史史料をひもとく ・川柳を楽しむ ・書に親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽サロン ・美術の世界 ・リズム体操 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の歴史 ・江戸時代の文学を読む ・俳句入門 ・100歳まで歩こう ・暮らしの実学 	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の歴史 ・中国史に学ぶ ・食と住の文化史 ・脳と身体の健康『ライフキネティック』 ・篆刻 	<ul style="list-style-type: none"> ・富山のまち ・漢詩漢文の世界へ ・世界の国々 ・健康生活の知恵 ・日本画 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい法律

【会場】陶芸実習施設(花木)/大沢野会館/大久保ふれあいセンター/大山会館/婦中ふれあい館/猪谷関所館

	月	火	水	木	金	土
午前			<ul style="list-style-type: none"> ・飛越往来 	<ul style="list-style-type: none"> ・うまい水のルーツを探る 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本画(大沢野) 	
午後		<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸B ・富山の郷土玩具“土人形”を作ろう ・手作り銀粘土アクセサリー 			<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸A 	

6 学習日程表

(1)一般

101 富山の環境－過去・現在・未来－

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2
[時間] 9:30～11:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・21	木	海洋プラスチックごみ対策 －未来のためにできること－	市環境政策課 課長代理 小林 慶一
2	6・4	木	富山湾をとりまく海洋環境の近年の急変	富山大学学術研究部都市デザイン学系 教授 田口 文明
3	6・18	木	レッドリストとブルーリスト －富山の絶滅危惧植物と外来植物－	富山県中央植物園 園長 中田 政司
4	7・2	木	ゼロカーボンシティについて	市環境政策課 係長 前澤 直人
5	7・16	木	化石から探る地球環境の変遷 －過去・現在・未来－	富山大学学術研究部都市デザイン学系 教授 佐野 晋一
6	8・27	木	富山市の有害鳥獣対策について －クマなどの被害を防ぐために－	市森林政策課 副主幹 杉林 広和
7	9・17	木	富山の気候と地球温暖化	富山大学学術研究部都市デザイン学系 教授 安永 数明
8	10・8	木	イタイイタイ病から学ぶ土の大切さ	富山大学学術研究部理学系 准教授 蒲池 浩之
9	10・22	木	常願寺川の治水と砂防	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸員 是松 慧美
10	11・5	木	富山の雪氷環境	富山大学学術研究部都市デザイン学系 教授 杉浦幸之助

102 富山のまち－持続可能なまちづくり－

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2ほか
[時間] 13:30～15:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・15	金	富山の交通 －並行在来線を中心に－	富山高等専門学校国際ビジネス学科 教授 岡本 勝規
2	5・29	金	シン・コンパクトシティ戦略 －データを活用した『まちの見える化』事業－	市まちづくり推進課 主幹 佐伯 哲弥
3	6・12	金	地図から考える富山のまちの近現代	富山大学学術研究部教育学系 教授 山根 拓
4	6・26	金	街は好きですか？ ～街のリニューアルとまちづくり会社の役割～	株式会社富山市民プラザ 代表取締役社長 京田 憲明
5	7・10	金	富山の港湾と貿易 －中古車輸出を中心に－	富山高等専門学校国際ビジネス学科 教授 岡本 勝規
6	9・18	金	富山の商業環境	
7	10・2	金	富山の農林水産業	
8	10・9	金	【現地学習】 中心市街地の見学 －総曲輪・西町・中央通り－	富山大学学術研究部人文科学系 教授 大西 宏治
9	10・23	金	【現地学習】 中心市街地の見学 －富山駅とその周辺－	
10	10・30	金	都市と農村	

103 立山黒部ジオパークを知る

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・20	水	ジオパークって何？ －立山黒部ジオパークの概要－	立山黒部ジオパーク協会 事務局長 今堀喜一
2	6・3	水	立山の地形と黎明期の立山砂防について	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長補佐 福井幸太郎
3	6・17	水	芦峯寺の布橋灌頂会と女人救済	富山県 [立山博物館] 副主幹 細木ひとみ
4	7・1	水	震える山息吹く山 知られざる立山の鼓動	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長補佐 丹保俊哉
5	7・15	水	植物で考える 立山黒部ジオパークの時間と空間	魚津埋没林博物館 館長 石須秀知
6	9・2	水	富山平野のジオヒストリー 「海と山がつむぐ地形の物語」	立山黒部ジオパーク協会 学術顧問 竹内章
7	9・16	水	立山黒部ジオパークでの化石の探し方	黒部市吉田科学館 学芸員 石川亜郷
8	10・7	水	富山に産する日本最古の砂粒と地球の歴史	富山大学学術研究部都市デザイン学系 助教 沢田輝
9	10・21	水	黄金を追い求めた地下迷宮： 坑道と岩石から探る松倉・下田の鉱脈	魚津埋没林博物館 学芸員 佐藤真樹
10	11・11	水	富山の化石：楽しみ方から保全まで	富山市科学博物館 学芸員 吉岡翼

*第3回目のテキストは、当日販売します。『「布橋灌頂会」リーフレット』200円

104 郷土の歴史

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・21	木	おわらの起源から保存会の設立まで	富山県民謡越中八尾おわら保存会 資料編纂部長 嘉藤稔
2	6・4	木	立山信仰に関わるすばらしい文化財建造物群 －山麓から山頂まで－	専門学校職藝学院 学院長・教授 上野幸夫
3	6・18	木	牛ヶ首用水と農政	とやまふるさとの会 顧問 五十嵐清
4	7・2	木	中世の立山参詣	越中央壇会 副会長 城岡朋洋
5	7・16	木	津田遠江守重久 －秀吉が腕を買った男とその子孫たち－	市民俗民芸村民芸館 館長 坂森幹浩
6	8・27	木	富山の民俗～住まいと暮らし～	市民俗民芸村 学芸員 橋本七海
7	9・10	木	100年前の富山市～昭和戦前期をみる～	市教育委員会生涯学習課 副主幹 尾島志保
8	9・24	木	翁久允と富山 －続・太平洋戦争下の『高志人』－	富山大学学術研究部教養教育学系 准教授 水野真理子
9	10・8	木	西猪谷関所を通ったひとたち	猪谷関所館 前館長 舟杉克巳
10	10・29	木	千歳御殿を探る	市郷土博物館 学芸員 浦畑奈津子

105 海・川・山の考古学

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・8	金	自然地形(海・川・山)と遺跡	市埋蔵文化財センター 主幹学芸員 堀内大介
2	5・22	金	神通川河口域の遺跡	市埋蔵文化財センター 主幹学芸員 小黒智久
3	6・5	金	常願寺川河口域の遺跡	市埋蔵文化財センター 学芸員 工藤隼
4	6・19	金	井田川中流域の遺跡	市埋蔵文化財センター 主幹学芸員(所長代理) 近藤顕子
5	7・3	金	海・川・山のまじない	市埋蔵文化財センター 所長 堀沢祐一
6	9・4	金	白岩川流域の遺跡	市埋蔵文化財センター 主任学芸員 宮田康之
7	9・18	金	呉羽丘陵と山麓の遺跡	市埋蔵文化財センター 主幹学芸員 細辻嘉門
8	10・2	金	神通川中流域の遺跡	市埋蔵文化財センター 学芸員 工藤隼
9	10・16	金	神通峡とその周辺の遺跡	市埋蔵文化財センター 学芸員 納屋内高史
10	11・6	金	山地の鉱山遺跡・信仰遺跡	市埋蔵文化財センター 専門学芸員 野垣好史

106 日本の歴史

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・13	水	人類が誕生し日本列島へ到来する	敬和学園大学人文社会科学研究所 客員研究員 藤田富士夫
2	5・27	水	縄文文化の始まりのころ	
3	6・10	水	敗者の歴史ー越中戦国武士の軌跡を辿るー	とやま歴史的環境づくり研究会 代表 高岡 徹
4	6・24	水	ヤマト政権から律令国家へ ー高志・北陸・越中の成立ー	富山大学学術研究部人文科学系 教授 鈴木景二
5	7・8	水	観応の擾乱	富山県公文書館 史料調査専門員 高森邦男
6	8・26	水	開国と幕末の動乱ー近代の幕開けー	富山県 [立山博物館] 館長 高野靖彦
7	9・9	水	寺院の訴訟に見る室町期社会	金沢学院大学文学部 教授 本多俊彦
8	9・30	水	戦国~江戸時代の村と百姓	富山大学学術研究部教育学系 准教授 中村只吾
9	10・14	水	明治天皇の地方巡幸	富山近代史研究会 会長 城岡朋洋
10	10・28	水	明治日本の海運と築港	

107 世界の歴史

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室 1
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・11	月	ユーラシア大陸の東西(古代)	富山大学学術研究部教育学系 元教授 徳橋 曜
2	5・25	月	キリスト教とヨーロッパ世界(4~12世紀)	
3	6・8	月	イスラーム世界の成立と展開(7~12世紀)	
4	6・22	月	「モンゴルの平和」とヨーロッパ(13~15世紀)	
5	7・6	月	宗教改革のヨーロッパ(16世紀)	
6	9・7	月	「大航海時代」の世界(16~17世紀)	
7	9・14	月	市民革命とナショナリズム(17~19世紀)	
8	10・5	月	「近代世界」の形成(19世紀)	
9	10・26	月	国民国家と世界大戦(19~20世紀)	
10	11・9	月	戦後世界とイデオロギー(20世紀)	

108 中国史に学ぶ「北宋時代の新文化」

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室 1
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・14	木	宋初の文運復興－五代文化の集成・再編－	富山大学名誉教授 公益財団法人東洋文庫 研究員 徳永洋介
2	5・28	木	泰山封禅－宋王朝と道教教団－	
3	6・11	木	古文運動－新たな士大夫像の形成－	
4	6・25	木	科挙制度の革新と文人社会	
5	7・9	木	濮議小論－皇帝政治の理念と現実－	
6	9・3	木	『唐書』と『資治通鑑』－歴史叙述の革新－	
7	9・17	木	五代・北宋の絵画－華北系大観山水の隆盛－	
8	10・1	木	郭熙『早春図』と熙豊変法	
9	10・22	木	徽宗の画院改革－院体画と文人画－	
10	11・5	木	張昞端『清明上河図』と国都開封の栄華	

109 食と住の文化史

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室 2
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・14	木	食の文化論VI -「和食」の素養とこれから-	越中史壇会 会長 木本秀樹
2	5・28	木	加賀藩の山野河海の産物と将軍献上	兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学 助教 安藤 竜
3	6・11	木	住の文化論VI	レトロフィット代表 早稲田大学理工総研 研究員
4	6・25	木	住の文化論VII	森本英裕
5	7・9	木	食べものづくりIV	市郷土博物館
6	9・3	木	くらしから変わる住まいIV	主幹学芸員 中本八穂
7	9・17	木	古代の食の調理とやまい	越中史壇会 会長 木本秀樹
8	10・1	木	立山信仰と芦峯寺の食文化	富山県 [立山博物館] 副主幹 細木ひとみ
9	10・15	木	博覧会で描かれた理想のくらし	市教育委員会生涯学習課 副主幹 尾島志保
10	10・29	木	能登半島地震と能登の建物	金沢工業大学建築学科 教授 山崎幹泰

110 歴史史料をひもとく

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室 2
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・18	月	近世史料をよむ -水害と向き合う人びと「満水留」より-	富山県公文書館 史料調査専門員 認証アーキビスト 榮 夏代
2	6・1	月	昭和史をよむ -昭和前期の暮らし-	
3	6・15	月	アーキビストの仕事 -県公文書館の活動を事例として-	
4	6・29	月	歴史資料にふれる -「守る」「活かす」「学ぶ」-	市民俗民芸村 学芸員 榮 夏代 兼子 心
5	7・13	月	中世史料をよむ -災害・疫病をくぐり抜けて-	市民俗民芸村 学芸員 兼子 心
6	8・17	月	中世史料をよむ -戦国期にかけての医薬の発展-	
7	9・7	月	昭和史をよむ -戦前・戦後 激動の売薬業-	
8	9・28	月	古代史料をよむ -災意と思想-	越中史壇会 会長 木本秀樹
9	10・19	月	古代史料をよむ -海を渡った人びと その2-	
10	11・9	月	昭和史をよむ -明治以降の「古代」の一齣-	

111 おくのほそ道をよむ

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・20	水	俳諧と芭蕉	富山高等専門学校 名誉教授 高熊哲也
2	6・3	水	序章 草の戸も住替る代ぞひなの家 旅立 行春や鳥啼魚の目は泪	
3	6・17	水	日光 あらたうと青葉若葉の日の光 白川の関 卯の花をかざしに関の晴着かな(曾良)	
4	7・1	水	平泉 夏草や兵どもが夢の跡 卯の花に兼房みゆる白毛かな(曾良) 五月雨の降り残してや光堂	
5	7・15	水	立石寺 閑さや岩にしみ入蟬の声 最上川 五月雨をあつめて早し最上川	
6	9・9	水	象潟 象潟や雨に西施がねぶの花	
7	9・30	水	一(市)振 一家に遊女もねたり萩と月	
8	10・14	水	那古の浦 わせの香や分入右は有磯海 金沢 塚も動け我泣声は秋の風	
9	10・28	水	小松 むざんやな甲の下のきりぎりす 那谷 石山の石より白し秋の風 山中 山中や菊はたおらぬ湯の匂	
10	11・11	水	大垣 蛤のふたみにわかれ行秋ぞ	

112 漢詩漢文の世界へ

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	4・24	金	I 漢文の読み方・句法	県立富山高等学校 元副校長 高倉知成
2	5・22	金	II 漢詩(1) 自然・四季	
3	6・5	金	II 漢詩(2) 情愛・無情	
4	6・19	金	II 漢詩(3) 憂愁・自適	
5	7・3	金	II 漢詩(4) 日本の漢詩	
6	8・28	金	III 語録・名言	
7	9・11	金	IV 故事・寓話	
8	9・25	金	V 思想(1) 諸子百家	
9	10・16	金	V 思想(2) 論語	
10	11・13	金	V 思想(3) 論語	

113 古文入門～平安女流文学に触れる～

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1
[時間] 9:30～11:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・12	火	「蜻蛉日記」貴公子の妻	富山短期大学 非常勤講師 沢井友義
2	5・26	火	「蜻蛉日記」貴公子の妻2	
3	6・9	火	「枕草子」謎多き書物	
4	6・23	火	「枕草子」謎多き書物2	
5	7・7	火	「和泉式部日記」和歌と恋の達人	
6	9・1	火	「和泉式部日記」和歌と恋の達人2	
7	9・15	火	「紫式部日記」宮中の女房	
8	10・6	火	「紫式部日記」宮中の女房2	
9	10・20	火	「更級日記」受領階級の女(むすめ)	
10	11・10	火	「更級日記」受領階級の女(むすめ)2	

114 江戸時代の文学を読む

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2
[時間] 13:30～15:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・20	水	はじめに ——近世(江戸時代)の文学——	富山県立大学 非常勤講師 奥野美友紀
2	6・10	水	井原西鶴『好色一代男』	
3	7・1	水	井原西鶴『万の文反古』	
4	7・8	水	近松門左衛門『曾根崎心中』	
5	7・22	水	近松門左衛門『心中天の網島』	
6	9・2	水	映像で観る近世文学	
7	9・9	水	上田秋成『雨月物語』(1)	
8	10・7	水	上田秋成『雨月物語』(2)	
9	10・21	水	草双紙を楽しむ(1)	
10	11・4	水	草双紙を楽しむ(2) まとめ	

115 暮らしを彩る短歌の楽しみ

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・22	金	・短歌づくりは初心から ・楽しく詠んで楽しく共感!	WE Bサイトとやまの詩歌 主掌 木下 晶
2	6・5	金	・春の事物や想いを味わう ・推しの歌人を見つけよう!	
3	6・19	金	・「歌会始め」に注目 ・初句・三句・結句の働きは?	
4	7・3	金	・初夏の事物や想いを詠む ・類語検索で推敲あれこれ!	
5	7・17	金	・夏の事物と想いを味わう ・句切れ・句またがり自由自在!	
6	9・11	金	・祭りの周辺と想いを味わう ・日本語の特長オノマトペを生かす!	
7	9・25	金	・旅の景色と想いを味わう ・言い尽くさず、読み手に完成させる!	
8	10・9	金	・通期の作品ふりかえりと推敲 ・選んでみよう「私の三首」	
9	10・23	金	・作品集の推敲 ・「私の三首」歌集から推し作品投票!	
10	11・6	金	・「私の三首」歌集から推し大賞表彰 ・「歌集」から受講者の作品を共感	

*受講者同士で、感想などを語り合う時間を設けます。

116 俳句入門

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 20名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・13	水	今年度の方針と流れ 私の俳句観 俳句の基礎・基本 句会の心得	富山県俳句連盟 幹事 森川敬三
2	6・3	水	句会(1) 当季雑詠 俳句の歴史 俳句の読解 切れ(1)	
3	6・24	水	句会(2) 当季雑詠 季語とその本意・本情 鑑賞と評価 切れ(2)	
4	7・15	水	句会(3) 当季雑詠 無理のない字余り・字足らず 切れ(3)	
5	8・5	水	句会(4) 当季雑詠 切れの在り処と切れの効用 推敲の仕方	
6	8・26	水	句会(5) 当季雑詠 兼題句の作り方	
7	9・16	水	句会(6) 当季雑詠(内1句は兼題句) 作句のコツ 吟行のコツ	
8	9・30	水	会場近傍の吟行 句会(7) (吟行句会)	
9	10・14	水	句会(8) 当季雑詠(内1句は兼題句) 俳句の種類・自分に合った俳句	
10	11・11	水	句会(9) 当季雑詠(内1句は兼題句) 学び続けるために	

*講座1週間前に自作俳句を投句していただきます。(投句方法は、初回に説明します。)

117 川柳を楽しむ

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 20名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・11	月	川柳の基本／川柳の歴史／音数／投句の仕方 まずは作ってみる	川柳えんぴつ誌 編集長 カラット 代表 竹内 勤子
2	5・25	月	古川柳と今の川柳／前回の提出句から 席題に挑戦	
3	6・8	月	課題に取り組む／テーマをどう考える／提出句	
4	6・22	月	富山の川柳作家／助詞を考える／提出句	
5	7・6	月	課題吟と自由吟／句の見直し方／提出句	
6	8・24	月	いろいろな川柳に触れてみる／宿題・提出句	
7	9・14	月	過去の大会作品／宿題・提出句	
8	10・5	月	感性をみがくとは／一句鑑賞／宿題・提出句	
9	10・26	月	時事川柳を鑑賞する／今年のニュースから	
10	11・16	月	今年の川柳大会作品／まとめ	

118 文学へのいざない

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・13	水	北日本文学賞 「PoET」	富山県芸術文化協会 名誉会長 吉田 泉
2	5・27	水	谷崎潤一郎 『刺青・秘密』より 「少年」(新潮文庫)	
3	6・10	水	菊池寛 『藤十郎の恋・恩讐の彼方に』より 「藤十郎の恋」(新潮文庫)	
4	6・24	水	チェーホフ 『かわいい女・犬を連れた奥さん』より 「かわいい女」(新潮文庫)	
5	7・8	水	乃南アサ 『軀 KARADA』より 「尻」(文春文庫)	
6	9・2	水	太宰治 『斜陽』より 「斜陽」(新潮文庫)	
7	9・16	水	チェーホフ 『かわいい女・犬を連れた奥さん』より 「犬を連れた奥さん」(新潮文庫)	
8	10・7	水	辻村深月 『嘘つきジェンガ』より 「2020年のロマンス詐欺」(文春文庫)	
9	10・21	水	チェーホフ 『かわいい女・犬を連れた奥さん』より 「谷間」(新潮文庫)	
10	11・4	水	永井龍男 『青梅雨』より 「蜜柑」(新潮文庫)	

*テキストとしてその都度、必要な書籍を購読してください。

119 朗読を楽しもう

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 20名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・7	木	発声・朗読の基礎について	朗読グループ「言の葉」 代表 立田ひろみ
2	5・28	木	絵本を読んでみよう	
3	6・11	木	民話・昔話を読んでみよう	
4	6・25	木	小説（現代・時代物・朗読劇）を読んでみよう	
5	7・9	木	詩・短歌・俳句・川柳等を読んでみよう	
6	9・3	木	エッセイを読んでみよう	
7	9・24	木	落語（絵本）を読んでみよう	
8	10・15	木	群読をやってみよう	
9	10・29	木	各自の読みたい文章を決めて、練習しよう	
10	11・12	木	好きな文章を人前で読んでみよう（発表）	

120 落語のはなし

[会場] 市民プラザ南側4階 アンサンブルホール
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 140名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・19	火	落語実演（1）	落語家 三遊亭良楽
2	6・2	火	落語よもやまばなし その1	
3	6・16	火	落語よもやまばなし その2	
4	6・30	火	落語よもやまばなし その3	
5	7・14	火	落語実演（2）	
6	9・1	火	落語よもやまばなし その4	
7	9・15	火	落語よもやまばなし その5	
8	9・29	火	落語よもやまばなし その6	
9	10・20	火	落語よもやまばなし その7	
10	11・10	火	落語実演（3）	

*予告なく学習題が変更になることがあります。

121 日本の歌、世界の歌

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1ほか
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 50名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・14	木	日本の歌 その1 ～日本の旋律、日本の西洋音楽の夜明け～	音楽プロデューサー 宮原麻子
2	5・28	木	日本の歌 その2 ～童謡運動から「みんなのうた」へ～	
3	6・11	木	日本の歌 その3 ～詩と音楽～	
4	6・25	木	日本の歌 その4 ～様々なアプローチによる日本の歌～	
5	7・9	木	【公開講座】(会場:市民プラザ南側4階アンサンブルホール) 日本の歌 その5 ～日本歌曲の魅力～	
6	9・10	木	世界の歌 その1 ～中世・ルネッサンス・バロック時代の歌～	
7	9・24	木	世界の歌 その2 ～ドイツ・イタリアの歌曲～	
8	10・8	木	世界の歌 その3 ～ロマン派の歌曲～	
9	10・22	木	世界の歌 その4 ～華麗なるオペラの世界～	
10	11・5	木	【公開講座】(会場:市民プラザ南側4階アンサンブルホール) 世界の歌 その5 ～オペレッタ・ミュージカル・ジャズなど～	

*アシスタント:堀江季理子(メゾ・ソプラノ) 広瀬裕子(ピアノ)

122 音楽サロン

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1ほか
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	4・21	火	18~20世紀、欧米の音楽(1)	声楽家 松本明子
2	5・19	火	18~20世紀、欧米の音楽(2)	
3	6・2	火	18~20世紀、欧米の音楽(3)	
4	6・16	火	18~20世紀、欧米の音楽(4)	
5	6・30	火	18~20世紀、欧米の音楽(5)	
6	7・14	火	18~20世紀、欧米の音楽(6)	
7	9・1	火	18~20世紀、欧米の音楽(7)	
8	9・29	火	18~20世紀、欧米の音楽(8) (会場:市民プラザ南側4階アンサンブルホール)演奏:松本明子ほか	
9	10・13	火	18~20世紀、欧米の音楽(9)	
10	10・27	火	18~20世紀、欧米の音楽(10)	

123 女声合唱

[会場] 市民プラザ南側4階 アンサンブルホール
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 80名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・13	水	<p>●発声法を学び、楽しい合唱を通じ音楽に親しむ</p> <p>○女声合唱曲集「落葉松」 作曲：小林秀雄</p> <p>○女声合唱ピース「いのちの歌」 作詞：Miyabi 作曲：村松崇継 編曲：首藤健太郎</p>	<p>指揮 ヴォーチェ・カナリーノ 主宰 瀬戸和江</p> <p>ピアノ オンディーヌ 主宰 椎名富美子</p>
2	5・27	水		
3	6・10	水		
4	6・17	水		
5	6・24	水		
6	7・1	水		
7	7・8	水		
8	9・9	水		
9	9・30	水		
10	10・7	水		
11	10・14	水		
12	10・21	水		
13	11・4	水		
14	11・11	水		
15	11・18	水		

*テキストは、初回に販売します。『女声合唱曲集「落葉松」』1,430円(税込) 『女声合唱ピース「いのちの歌」』770円(税込)

*例年、大学祭でステージ発表を行っています。

124 リコーダー演奏を楽しもう

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 40名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・18	月	<p>○ リコーダーを吹こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指の使い方について ・ 舌の使い方について ・ 息の使い方について ・ 舌と息と指の連動について <p>○ 楽譜を読もう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽の約束事について ・ 実際の楽譜の読み方について ・ 作曲家(編曲者)の「願い」について <p>○ アンサンブルを楽しもう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 耳を働かせて ・ 目を働かせて ・ 心を働かせて <p>○ レパートリーを増やそう</p>	<p>リコーダー・アンサンブル「パレット」 バス・リコーダー奏者 大坪史尚</p> <p>アシスタント リコーダー・アンサンブル「パレット」 テナー・リコーダー奏者 大坪仁子</p>
2	6・1	月		
3	6・15	月		
4	6・29	月		
5	7・13	月		
6	9・7	月		
7	9・28	月		
8	10・19	月		
9	11・2	月		
10	11・16	月		

*テキストは、初回に販売します。『ソプラノリコーダー初歩の初歩入門』1,320円(税込) 『笛星人』385円(税込)

*初回、お持ちの方はソプラノリコーダー(バロック式のものが見やすい)、アルトリコーダーを持参してください。

お持ちでない方は購入できます。(ソプラノリコーダー 2,000円程度・アルトリコーダー 3,000円程度)

125 世界の国々

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・15	金	アメリカの文化：移民と多様性の国	富山県国際交流員 アリス・リース
2	5・29	金	ベトナムをもっと身近に	富山県国際交流員 レ・コン・ヴォン
3	6・12	金	国際協力の現場で考えたこと・感じたこと	(一社) Think Locally Act Globally 事務局長 小島路生
4	6・26	金	アフリカの歴史から学ぶ －アフリカと日本のつながり－	上智大学 助教 大平和希子
5	7・10	金	韓国と日本の暮らしと文化のちがい	富山県国際交流員 ウ・ヒョンジョン
6	8・28	金	カナダの多文化主義を生きる －バンクーバーで見た文化・教育・社会のリアル－	富山外国語専門学校 講師 西田あつ子
7	9・11	金	ブラジルと日本の異文化コミュニケーション	富山県国際交流員 上原 マルコス
8	9・25	金	知っているようで知らないロシア	富山県立伏木高等学校 非常勤講師 ボンダレンコ・オクサナ
9	10・9	金	中米の国ホンジュラス －地域の人々が支える教育－	富山外国語専門学校 講師 坂下 静香
10	10・30	金	日本国内のネパール人の現状	富山ネパール文化交流協会 会長 ダルマ・ラマ

126 美術の世界

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1ほか
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 30名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・12	火	日本初の仏教寺院・飛鳥寺(元興寺)の造営について	富山大学学術研究部芸術文化学系 准教授 三宮千佳
2	5・26	火	【現地学習】(会場：富山市ガラス美術館) 企画展 Noctis：影と光のグラスアート 他	市ガラス美術館 館長 土田ルリ子/主査学芸員 渡部名祐子
3	6・9	火	【現地学習】(会場：富山県美術館) 企画展「谷川俊太郎 絵本★百貨展」	富山県美術館 主任学芸員 江尻育世
4	6・23	火	【現地学習】(会場：富山県水墨美術館) 日本画とらべる 茨城県近代美術館 珠玉のコレクション	富山県水墨美術館 学芸員 小松原 椿
5	7・7	火	影絵から広がる世界	影絵師 ジャック・ランダル
6	9・8	火	【現地学習】(会場：富山県美術館) 企画展「テオ・ヤンセン展」	富山県美術館 学芸員 内藤和音
7	10・6	火	【現地学習】(会場：富山市ガラス美術館) 企画展 Brilliant Color (仮称) 他	市ガラス美術館 副館長 北村仁美/主査学芸員 浅田真帆
8	10・13	火	【現地学習】(会場：富山市佐藤記念美術館) (仮)特別展「佐藤助庵の茶と美の道」	市佐藤記念美術館 主査学芸員 中川靖子
9	10・20	火	【現地学習】(会場：富山県水墨美術館) 豊原国周生誕190年 歌舞伎を描く 秘蔵の浮世絵初公開!	富山県水墨美術館 学芸員 金山 謡
10	11・10	火	勅願寺第一号・百済大寺(大安寺)の造営と白鳳美術	富山大学学術研究部芸術文化学系 准教授 三宮千佳

*【現地学習】は現地集合・現地解散となり、観覧料が必要です。

*美術館等の事情により、観覧前の座学での講義や観覧中のギャラリートークができない場合があります。

127 暮らしの中の和漢医薬学

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1ほか
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・15	金	健康寿命延長と和漢薬	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 東田千尋
2	5・29	金	和漢薬の飲み方、効かせ方	富山大学附属病院薬剤部 教授 加藤 敦
3	6・12	金	漢方薬と健康	富山大学和漢医薬学総合研究所 講師 条 美智子
4	6・26	金	がんと和漢薬	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 早川芳弘
5	7・10	金	生活習慣病に対する和漢薬	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 中川 嘉
6	8・28	金	数学で「未病」状態を見つける 漢方薬はナノ医薬品	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 小泉桂一
7	9・11	金	植物はなぜ薬をつくるのか?	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 庄司 翼
8	9・25	金	身近な和漢薬	富山大学和漢医薬学総合研究所 准教授 萬瀬貴昭
9	10・9	金	心身の健康とウェルビーイング	富山大学和漢医薬学総合研究所 助教 稲田祐奈
10	10・30	金	【現地学習】 (会場:富山大学和漢医薬学総合研究所 民族薬物資料館)	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 森田洋行

128 健康生活の知恵

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・22	金	日常を豊かにする持続可能な健康と幸福	富山大学学術研究部医学系 助教 立瀬剛志
2	6・5	金	医食同源(やくぜん)からみた富山の食事	富山大学 名誉教授 鏡森定信
3	6・19	金	富山湾深層水と水の機能性	富山県深層水協議会 顧問 葭田隆治
4	7・3	金	セルフメディケーション① 知っておきたい薬の知識	富山短期大学食物栄養学科 准教授 藤田恭輔
5	7・17	金	セルフメディケーション② 健康食品とのつきあい方	
6	9・4	金	睡眠改善で身体や脳・心の 総合メンテナンスをしながらしなやかに生きる	富山大学 名誉教授 神川康子
7	9・18	金	富山の睡眠満足度10年最下位から32位に向上した 改善の取り組み	
8	10・2	金	健康と食生活との関わりー少しの工夫で健康にー	富山大学学術研究部教育学系 准教授 藤本孝子
9	10・23	金	健康寿命を延ばす食事	管理栄養士 新村典子
10	11・6	金	医師が薦める温(泉)浴法	富山大学 名誉教授 鏡森定信

129 豊かな心

[会場] 市民プラザ南側4階 アンサンブルホール
[時間] 9:45~11:45 / [定員] 130名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・14	木	第三のみち	富山国際大学 元教授 永田 円了
2	6・4	木	常識を破る	
3	6・18	木	江戸に学ぶ	
4	7・2	木	支配からの自由	
5	7・16	木	老いのコツ	
6	9・3	木	老いのコツ・パートII	
7	9・24	木	黒川温泉	
8	10・15	木	お金と魂	
9	10・29	木	絵に描いたモチ	
10	11・12	木	初心は是、後心も是	

*資料は講義終了後に配付します。

130 リズム体操

[会場] 市民プラザ2階 アトリウム
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 50名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・12	火		体操インストラクター 田中 裕子
2	5・19	火	◇身体ほぐし体操	
3	5・26	火	・ やさしい呼吸法	
4	6・9	火	・ ハンドマッサージ	
5	6・16	火	・ 体と対話しながら行う体操	
6	6・23	火	◇リズム体操	
7	7・7	火	・ バランスのとれた全身運動	
8	7・14	火	・ 血行促進	
9	7・21	火	・ 若さと健康保持	
10	10・6	火	◇美容と健康のための体づくり	
11	10・13	火	・ 肩こり、腰痛、ひざの痛み予防	
12	10・20	火	・ 全身のシェイプアップ	
13	10・27	火	◇クールダウン	
14	11・10	火	・ 柔軟性を高める体操	
15	11・24	火	・ ゆったりストレッチ	

*毎回、運動のできる服装・靴で受講し、熱中症対策に飲み物をお持ちください。(必要な方は着替えも。)

*ストレッチの際、床に座りますので、必要な方は敷く物(バスタオルなど)を準備してください。

*例年、大学祭でステージ発表を行っています。

131 100歳まで歩こう

[会場] 市民プラザ2階 アトリウム
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 30名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・13	水	<p>●ストレッチングで心も体もしなやかに！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のんびり、ゆったり 心と体を軽やかに ・健やかな毎日を過ごすための体力づくり ・穏やかな毎日を過ごすための心づくり <p>*第1~5回は、バスタオル、フェイスタオルをお持ちください。</p>	<p>日本スポーツ協会公認スポーツ指導員 辰尾 妙子</p>
2	5・27	水		
3	6・10	水		
4	6・24	水		
5	7・8	水		
6	10・7	水	<p>●ノルディック・ウォーク&ノルディック・エクササイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ノルディック・ウォークの起源・効果・効能 ・ ノルディック・ウォークの歩行解析 ・ 生活習慣病とロコモティブシンドローム <p>*第6~10回は、屋外を歩きます。 貴重品を身につけられるカバンや、帽子、タオル等必要なものを各自準備してください。</p>	<p>全日本ノルディック・ウォーク連盟 専門講師 田中 洋</p>
7	10・14	水		
8	10・21	水		
9	10・28	水		
10	11・11	水		

*毎回、運動のできる服装（ジーンズは不可）・靴で受講し、熱中症対策に飲み物をお持ちください。（必要な方は着替えも。）

132 脳と身体健康『ライフキネティック』

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	4・23	木	脳活性ライフキネティックとは	<p>角川介護予防センター 健康運動指導士 沖 直哉</p> <p>健康運動指導士 宮崎 康広</p>
2	4・30	木	動きの切り替え（ボディコントロール）	
3	5・7	木	2つ以上の動きを同時におこなう	
4	5・21	木	2つ以上の動きをリズムに合わせて	
5	6・4	木	複数の動きを同時に滑らかに	
6	6・18	木	脳と五感（目や耳）と身体の繋がりを知ろう	
7	7・2	木	目と脳の不思議（視野を広げる）	
8	7・16	木	目と脳の不思議（空間認識力を高めよう）	
9	7・23	木	脳と目と身体の連携（利き目を知ろう）	
10	7・30	木	脳と目と身体の連携（両目を使おう）	

*毎回、簡単な運動のできる履き物、タオル、飲み物をお持ちください。

133 暮らしの実学

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・20	水	健康寿命延伸のためのスマートライフ	角川介護予防センター 健康運動指導士 沖 直 哉
2	6・3	水	もしもの災害に備えて	市防災課 専門気象予報士 宇 田 英 史
3	6・17	水	豊かな老後のために知っておきたいお金の話	J-FLEC講師 (消費生活専門相談員・FP2級) 古村理栄子
4	7・1	水	セカンドライフと生命保険	(公財)生命保険文化センター生活情報室 専任講師 山 口 良 司
5	7・15	水	最後まで私らしく 相続の基本を知る①	高岡法科大学 専任講師 後 藤 亜 季
6	9・2	水	最後まで私らしく 相続の基本を知る②	
7	9・16	水	健康情報の「ウソ・ホント」を見抜く力	富山短期大学食物栄養学科 准教授 藤 田 恭 輔
8	10・7	水	整理収納の基本	整理収納アドバイザー 浮田美紀子
9	10・21	水	図書館のある暮らし -活用の第一歩を知る-	市図書館 主任司書 工 藤 崇 人
10	11・4	水	暮らしと法律 ~不動産を中心に~	弁 護 士 木 下 実

134 楽しい法律

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1ほか
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・30	土	家族と法律 I -夫婦-	弁護士 吉 田 洋
2	6・13	土	家族と法律 II -親子-	
3	6・27	土	家族と法律 III -相続-	
4	7・11	土	社会生活と法律 I -事故・災害-	
5	7・25	土	社会生活と法律 II -仕事-	
6	9・5	土	財産と法律 I -契約-	
7	9・19	土	財産と法律 II -不動産-	
8	10・3	土	財産と法律 III -金銭貸借- 犯罪と法律 I -刑事裁判手続-	
9	未 定		犯罪と法律 II -刑事裁判傍聴- (日程は事前にお知らせします。)	
10	11・7	土	犯罪と法律 III -犯罪-	

*第9回の裁判傍聴は2回実施しますので、うち1回を受講できます。なお、裁判所の都合により平日に実施します。(実施時期は未定です。)

135 郷土の料理

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)3階 調理室
[時間] 10:00~12:00 / [定員] 18名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	4・21	火	旬の春野菜を使ったふるさと料理	管理栄養士 新 村 典 子
2	5・19	火	春の富山湾の料理	
3	6・9	火	夏を元気に過ごすための料理	
4	7・7	火	味わってみようお盆料理	
5	9・1	火	身近な素材で秋の料理	
6	10・6	火	秋の実りを食卓へ	
7	10・27	火	伝えておきたい郷土料理	
8	11・17	火	おばあちゃんの味を大切に	

*毎回、エプロン・マスク・三角巾・タオル2枚(食器用と手拭用)・持ち帰り容器・保冷バッグ・保冷剤を持参してください。

*初回に材料費(8回分:12,000円)を集合します。材料費の返金はできませんので、なるべく休まないでください。

*やむを得ず遅刻や欠席をされる場合は、必ずご連絡ください。

136 家庭でできる『やくぜん料理』

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)3階 調理室
[時間] 10:00~12:00 / [定員] 18名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・12	火	和食は世界で注目される健康食	管理栄養士 新 村 典 子
2	6・2	火	春から夏への食事	
3	6・23	火	夏バテ予防の食事	
4	7・14	火	疲労回復のための食事	
5	9・8	火	美容・美肌のための食事	
6	9・29	火	胃腸にやさしい食事	
7	10・13	火	老化防止のための食事	
8	11・10	火	秋から冬への食事	

*毎回、エプロン・マスク・三角巾・タオル2枚(食器用と手拭用)・持ち帰り容器・保冷バッグ・保冷剤を持参してください。

*初回に材料費(8回分:12,000円)を集合します。材料費の返金はできませんので、なるべく休まないでください。

*やむを得ず遅刻や欠席をされる場合は、必ずご連絡ください。

137 季節の和菓子づくり

【会場】 市民学習センター(市民プラザ北側)3階 調理室
【時間】 10:00~12:00 / 【定員】 12名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	4・23	木	粒餡の作り方 どらやき	お菓子教室ももほのか 主宰 清水祥子
2	5・21	木	漉し餡の作り方 上用まんじゅう	
3	6・11	木	草 餅	
4	6・25	木	あやめだんご	
5	7・16	木	フルーツあんみつ豆	
6	9・10	木	おはぎ	
7	10・1	木	練りきり	
8	10・22	木	花びらもち	

*毎回、エプロン・マスク・三角巾・タオル2枚(食器用と手拭用)・持ち帰り容器を持参してください。

*初回に材料費(8回分:12,000円)を収集します。材料費の返金はできませんので、なるべく休まないでください。

*やむを得ず遅刻や欠席をされる場合は、必ずご連絡ください。

138 スイーツで O・MO・TE・NA・SHI

【会場】 市民学習センター(市民プラザ北側)3階 調理室
【時間】 10:00~12:00 / 【定員】 12名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・14	木	ロールケーキ	お菓子教室ももほのか 主宰 清水祥子
2	5・28	木	カスタードプリン	
3	6・18	木	フルーツケーキ	
4	7・9	木	チーズケーキ	
5	7・23	木	フルーツポンチ	
6	9・17	木	エンガディナー・ヌストルテ	
7	10・15	木	アップルパイ	
8	11・5	木	オペラ	

*毎回、エプロン・マスク・三角巾・タオル2枚(食器用と手拭用)・持ち帰り容器を持参してください。

*初回に材料費(8回分:12,000円)を収集します。材料費の返金はできませんので、なるべく休まないでください。

*やむを得ず遅刻や欠席をされる場合は、必ずご連絡ください。

(2)創作

201 洋画

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)3階 アトリエ

[時間] 10:00~12:00 / [定員] 20名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・9	土	画材について 下地作りについて 楽しんで絵を描くこと	一陽会委員 富山県洋画連盟会員 古田 恵子
2	5・23	土	《静物》	
3	5・30	土	観察する 物と空間の形を捉える	
4	6・13	土	モチーフの関係性と物語を描く	
			自身のテーマを探求する	
5	6・20	土	《自動描写(オートマチックドローイング)》	
			伸びやかな線を描く 心象風景を具現化する	
6	7・4	土	《人物》	
7	7・11	土	生きた対象と向き合う	
8	7・18	土	誰もが見慣れている人体の持つ表情の発見	
9	9・12	土	《風景》	
10	9・26	土	外に出て、移り行く季節や変化を発見する	
			遠近感、消失点を意識する	
11	10・3	土	自身が捉えたもの、着目したもの 自身の物語を想い描く	
12	10・17	土	《自由課題》	
13	10・24	土	自身が主体となり、作品を仕上げる	
14	11・7	土	《作品鑑賞会》	
			大学祭展示作品の選考	
15	11・14	土	自身が惹かれるテーマ作品を語る	

*初回、画材の販売があります。(油彩用一式 33,000円程度) お手持ちの画材があればご使用ください。

*油彩を中心に水彩も可です。

202 日本画

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)3階 アトリエ

[時間] 13:30~15:30 / [定員] 20名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・8	金	画材等の説明 鉛筆デッサン(花、野菜、果物等)	日展会友 市日本画作家連盟常任理事 大島 麻美
2	5・22	金	鉛筆デッサン(ガラス類)	
3	5・29	金	デッサン(干物等) 鉛筆デッサン + 顔彩着色	
4	6・12	金	作品の為のデッサン	
5	6・26	金	下図制作(下図トレース・下図着色・小下絵完成)	
6	7・10	金		
7	7・24	金	作品の下地作り(胡粉のとき方)	
8	8・21	金	作品の下塗り(背景の色等水干絵具で着色)	
9	8・28	金	作品制作・彩色	
10	9・11	金		
11	9・25	金		
12	10・2	金		
13	10・16	金		
14	11・6	金		
15	11・13	金	作品完成・作品講評	

*初回は、スケッチブック(6号か8号程度)、鉛筆(HB~4B)、消しゴム、花などデッサンする物を持参してください。

*初回、画材の販売があります。(初心者 15,000円程度)

203 版画

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)3階 アトリエ

[時間] 9:30~11:30 / [定員] 20名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・15	金	木版画 基本彫りⅠ 下絵写し、彫り	版画芸術院会員 矢部美子
2	5・22	金	木版画 基本彫りⅠ 彫り、摺り	
3	6・5	金	木版画 基本彫りⅡ 下絵写し、彫り	
4	6・12	金	木版画 基本彫りⅡ 彫り、摺り	
5	6・26	金		
6	7・3	金	木版画 下絵	
7	7・17	金		
8	7・24	金		
9	9・4	金	木版画 彫り	
10	9・11	金		
11	9・25	金	木版画 試し摺り	
12	10・2	金	木版画 本摺り	
13	10・16	金	捺摺状 下絵	
14	10・30	金	捺摺状 彫り	
15	11・6	金	捺摺状 試し摺り	

*初回、画材の販売があります。(用具一式 8,000円程度)

*墨汁を使いますのでエプロン、ぞうきん(古タオル)を持参してください。

204 篆刻

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)3階 アトリエ

[時間] 14:00~16:00 / [定員] 20名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・21	木	篆刻の概要と篆刻三法 (選文・布字・彫刻)	日本篆刻家協会常務理事 大村雪陵
2	6・4	木	篆刻と字源(実技指導)	
3	6・18	木	名前彫り(実技指導)	
4	7・2	木	篆刻作品の見方(実技指導)	
5	7・16	木	石印材と印牋(実技指導)	
6	9・3	木	参考書・辞典の紹介(実技指導)	
7	9・17	木	落款と冠冒印(実技指導)	
8	10・1	木	大学祭出品作品準備	
9	10・15	木	年賀状(実技指導)	
10	11・5	木	篆刻について(総まとめ)	

*初回、画材の販売があります。(教材・用具一式 9,500円程度)

*エプロン、古いタオル、筆記用具を持参してください。

205 書に親しむ

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)3階 アトリエ
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 24名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・18	月	書の基本(歴史、用具、筆の持ち方 等)	富山県書道連盟常任委員・事務局長 小杉峰廣
2	6・1	月	古典を臨書する(楷書、行書を中心に)	
3	6・15	月		
4	6・29	月		
5	7・13	月	自分の作品を作る	
6	8・24	月		
7	9・14	月		
8	9・28	月		
9	10・19	月	みんなで一つの作品を作る	
10	11・16	月		

*初回、道具の販売があります。(教材・用具一式 6,000~8,000 円程度) お手持ちの用具があれば持参してください。
*エプロン、古いタオル、古新聞、筆記用具を持参してください。

206 影絵を作ろう

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)3階 アトリエ
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 15名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・27	水	導入 & 影絵制作 (影絵の概要と基本的な影絵作り)	影絵師 ジャック・ランダル
2	6・24	水	影絵制作 & 操作練習 (仕掛けの追加・デザインの調整・操作の練習)	
3	7・8	水	ストーリー作り(1回目) (好きな物語の一場面を選び、講師の指導でアレンジしたり、一緒に新しい短い場面を考える)	
4	7・29	水	ストーリー制作 (1回目のストーリー用の影絵を作り、その場면을撮影)	
5	9・9	水	作品上映・ストーリー制作 (1回目のストーリー動画を上映・新しいストーリーを作る または1回目のストーリーを改良する)	
6	9・30	水	ストーリー作り(2回目) (新しいストーリーを作る または1回目のストーリーを改良する)	
7	10・14	水	ストーリー制作(2回目:前半) (2回目のストーリー用の影絵を作り、その場면을撮影)	
8	11・4	水	上映(2回目) & 最終アクティビティ (2回目のストーリー動画を上映)	

*初回に、教材費を収集します。(500 円程度)
*筆記用具、はさみ、デザインナイフ(またはアートナイフ)、カッターマット(200×300mm 程度)を持参してください。

207 陶芸(前期)A / 208 陶芸(前期)B

[会場] 富山市民大学陶芸実習施設
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 各12名

回	A(207)		B(208)		学 習 題	講 師
	月・日	曜	月・日	曜		
1	5・8	金	5・19	火	焼き物の工程について 手ロクロで作る(抹茶碗・盛鉢など)	富山県工芸作家連盟会員 中山朱津子
2	5・15	金	5・26	火	前回作品の削り仕上げ	
3	5・22	金	6・2	火	手ロクロで自由制作	
4	5・29	金	6・9	火	前回作品の削り仕上げ	
5	6・5	金	6・16	火	板づくりで作る(皿・小鉢など)	
6	6・12	金	6・23	火	素焼きの窯づめ 下絵デザイン 土練り 電動ロクロ体験	
7	6・19	金	6・30	火	素焼きの窯出し 下絵付け 釉がけの準備	
8	6・26	金	7・7	火	釉がけについて 下絵付け	
9	7・3	金	7・14	火	釉がけ 本焼き窯づめ	
10	7・10	金	7・21	火	窯出し 作品講評会 作品渡し	

*初回に、教材費を収集します。(1,000円程度)

*エプロン、古いタオル2枚、新聞紙2日分、筆記用具、内履きを持参してください。

*作業が遅れるので、なるべく休まないでください。また、粘土を持ち帰っての作品制作は、ご遠慮ください。

209 陶芸(後期)A / 210 陶芸(後期)B

[会場] 富山市民大学陶芸実習施設
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 各12名

回	A(209)		B(210)		学 習 題	講 師
	月・日	曜	月・日	曜		
1	8・28	金	9・1	火	焼き物の工程について 手ロクロで作る(抹茶碗・盛鉢など)	富山県工芸作家連盟会員 中山朱津子
2	9・4	金	9・8	火	前回作品の削り仕上げ	
3	9・11	金	9・15	火	手ロクロで自由制作	
4	9・18	金	9・29	火	前回作品の削り仕上げ	
5	9・25	金	10・6	火	板づくりで作る(皿・小鉢など)	
6	10・2	金	10・13	火	素焼きの窯づめ 下絵デザイン 土練り 電動ロクロ体験	
7	10・9	金	10・20	火	素焼きの窯出し 下絵付け 釉がけの準備	
8	10・16	金	10・27	火	釉がけについて 下絵付け	
9	10・23	金	11・10	火	釉がけ 本焼き窯づめ	
10	10・30	金	11・17	火	窯出し 作品講評会 作品渡し	

*初回に、教材費を収集します。(1,000円程度)

*エプロン、古いタオル2枚、新聞紙2日分、筆記用具、内履きを持参してください。

*作業が遅れるので、なるべく休まないでください。また、粘土を持ち帰っての作品制作は、ご遠慮ください。

*後期の募集は市広報7月20日号(予定)に掲載します。

(3) プラネット

301 富山の郷土玩具“土人形”を作ろう

[会場] 大沢野会館 中会議室(1)
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 16名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師	
1	5・19	火		土人形制作講師 古川圭子	
2	6・2	火			
3	6・16	火			粘土 型込めで招き猫、雛人形、天神様などを作る
4	7・7	火			
5	7・21	火			
6	9・1	火			
7	9・8	火			
8	10・6	火			彩色 窯で焼き上げた人形に絵付けする
9	10・20	火			
10	11・17	火			

*材料費7,000円(粘土代、絵具代、窯焼き代)

*初回に作成したい土人形の希望をとります。1年の受講で10個以上の土人形を制作できます。

302 日本画(大沢野)

[会場] 大久保ふれあいセンター 工芸実習室
[時間] 10:00~12:00 / [定員] 18名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・8	金	日本画について(画材等の説明)・鉛筆写生	日展会友 網谷真佐美
2	5・22	金	着彩写生	
3	6・12	金	紙・礬水について	
4	6・19	金	膠・絵具・胡粉等の扱い方	
5	7・3	金		
6	7・17	金	着彩写生	
7	7・31	金		
8	8・7	金	小下図制作(ねらい、構図、色彩計画)	
9	8・21	金	大下図制作	
10	9・4	金	作品制作	
11	9・18	金		
12	10・2	金		
13	10・16	金		
14	10・30	金		
15	11・6	金	作品完成・作品講評	

*初回、画材の販売があります。(初心者 20,000円程度)

*初回、お持ちの方は、スケッチブック、鉛筆、ねりゴムを持参してください。

303 うまい水のルーツを探る

[会場] 大山会館2階 中会議室ほか
[時間] 10:00~12:00 / [定員] 15名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・14	木	常願寺川が作る大地のかたち	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長補佐 丹保俊哉
2	5・28	木	【現地学習】(会場:立山カルデラ砂防博物館) 暴れ川・常願寺川ー治水と砂防の歴史ー	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸員 是松慧美
3	6・4	木	【現地学習】(会場:横江頭首工管理事務所ほか) 水との闘いと用水の歴史	常願寺川沿岸用水土地改良区連合 横江頭首工管理事務所 職員
4	6・25	木	水の源ー立山の雪と氷河を探るー	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長 飯田 肇
5	7・9	木	世界かんがい施設遺産「常西合口用水」の歴史	常西用水土地改良区 事務局長 水谷英二
6	8・20	木	【現地学習】(会場:大山歴史民俗資料館) ー湖底に沈んだ有峰村ー「電気王国」と「水の王国」	大山歴史民俗研究会 山森 潔
7	9・3	木	【現地学習】(会場:上下水道局流杉浄水場) 水道水ができるまで	上下水道局 流杉浄水場 職員
8	10・8	木	【現地学習】(会場:常西公園小水力発電所ほか) 上滝地区の治水の歴史	上滝地区観光ボランティアガイドの会 参与 北村正義
9	10・22	木	とやまの水を知ろう／おいしさのワケ	富山県生活環境文化部県民生活課 水雪土地対策係 職員
10	11・12	木	くらしと水ーおいしい水を調べるー	富山国際大学 名誉教授 尾畑納子

*【現地学習】は現地集合・現地解散となります。

*第3回は途中、車による移動を伴います。

304 手作り銀粘土アクセサリー(前期) / 305 手作り銀粘土アクセサリー(後期)

[会場] 婦中ふれあい館 小研修室2
[時間] 13:30~16:00 / [定員] 各12名

回	前期(304)		後期(305)		学 習 題	講 師
	月・日	曜	月・日	曜		
1	5・12	火	9・15	火	ペンダントトップを作しましょう(1) (デザインを考え造形します)	アクセサリー工房 「ONE PLACE」主宰 後藤千百合
2	5・26	火	9・29	火	ペンダントトップを作しましょう(2) (焼成し、いぶし仕上げにします)	
3	6・9	火	10・13	火	指輪を作しましょう(1) (デザインを考え造形します)	
4	6・23	火	10・27	火	指輪を作しましょう(2) (形成し、焼成します)	
5	7・7	火	11・10	火	指輪を作しましょう(3) (鏡面に磨きます)	

*材料費(9,500円程度)が必要です。

*後期の募集は市広報8月5日号(予定)に掲載します。

306 飛越往来

[会場] 猪谷関所館
[時間] 10:00~12:00 / [定員] 15名

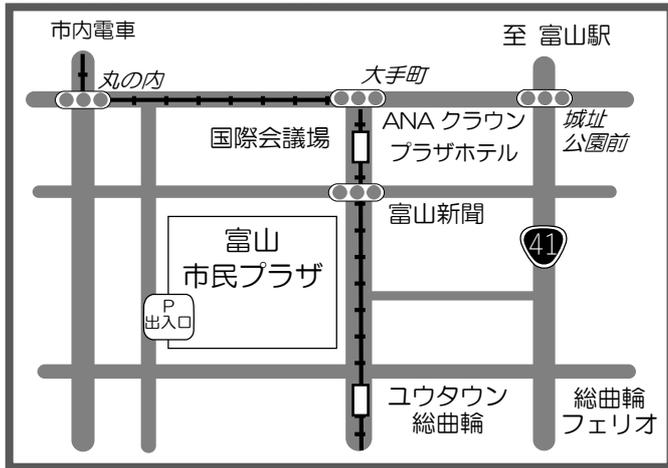
回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	4・22	水	飛騨街道の近代	富山近代史研究会 会長 城岡朋洋
2	5・20	水	飛越往来の諸相	富山大学学術研究部人文科学系 教授 鈴木景二
3	5・27	水	越中から飛騨に侵攻した金森長近について	こくふ歴まちネット代表 安国寺住職 堀 祥岳
4	6・24	水	長棟鉦山について	飛騨歴史民俗学会 会長 福井重治
5	7・8	水	古川祭の歴史と魅力 －富山の技術者にも支えられた祭屋台－	飛騨市教育委員会文化振興課 主査 橋本真之介
6	7・22	水	土器からみた縄文時代の飛越交流	飛騨市教育委員会文化振興課 主事(学芸員) 保谷里歩
7	9・9	水	神通峡における富山石工の活躍	富山石文化研究所 代表 古川知明
8	9・30	水	特有な呪術文化を発達させた飛越の縄文人	富山文化研究会 代表 藤田富士夫
9	10・7	水	関所番人の関東への旅	猪谷関所館 元館長 加藤敏一
10	10・14	水	古代飛越関係史資料にみる歴史像	越中史壇会 会長 木本秀樹

猪谷関所館 連絡先 ☎ 484-1007

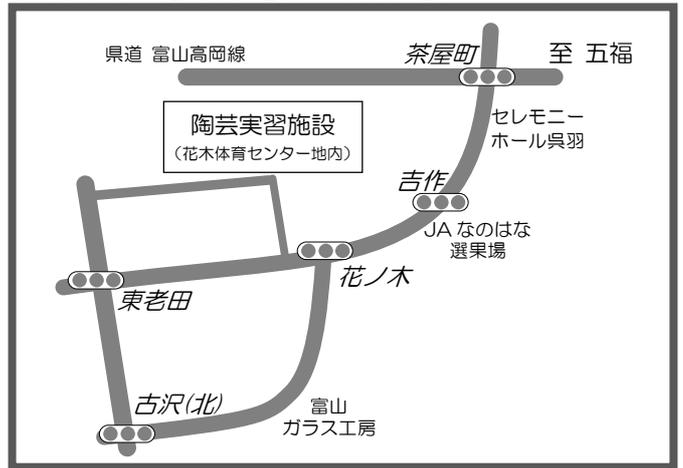


7 各会場の地図

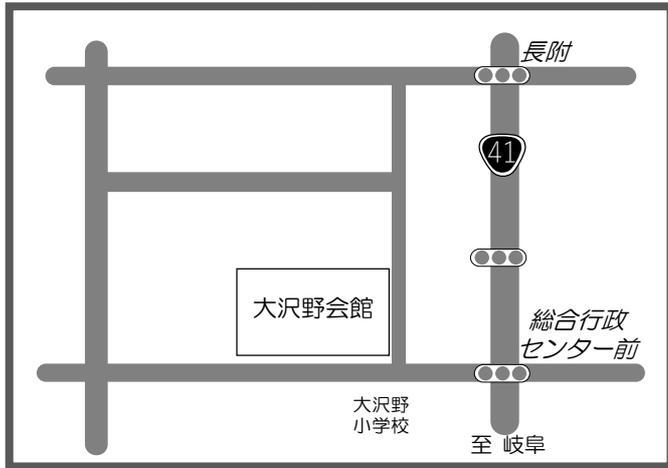
○市民学習センター 富山市大手町 6-14 (富山市民プラザ内)



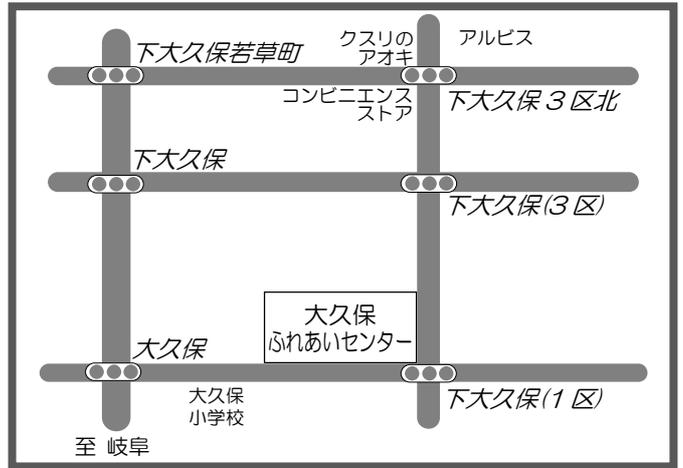
○市民大学陶芸実習施設 富山市花木 28 (花木体育センター地内)



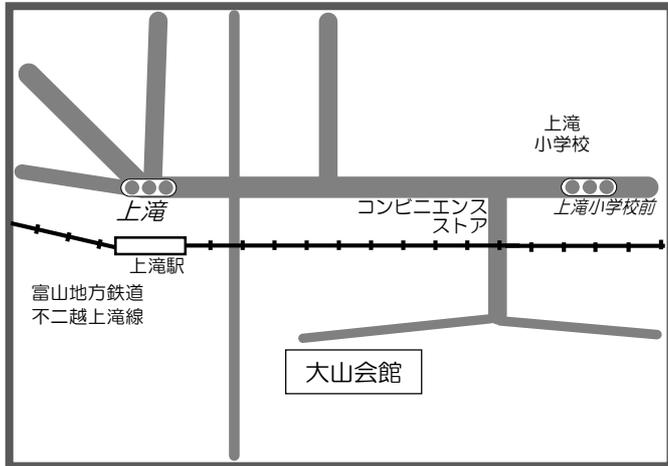
○大沢野会館 富山市高内 365



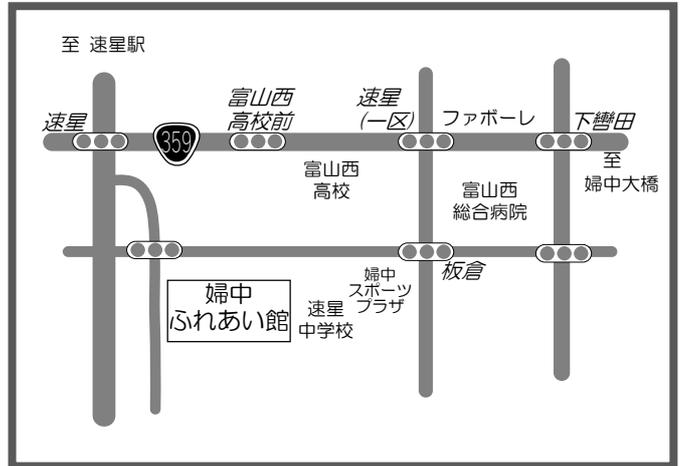
○大久保ふれあいセンター 富山市下大久保 176-1



○大山会館 富山市上滝 567



○婦中ふれあい館 富山市婦中町砂子田 1-1



○猪谷関所館 富山市猪谷 978-4

